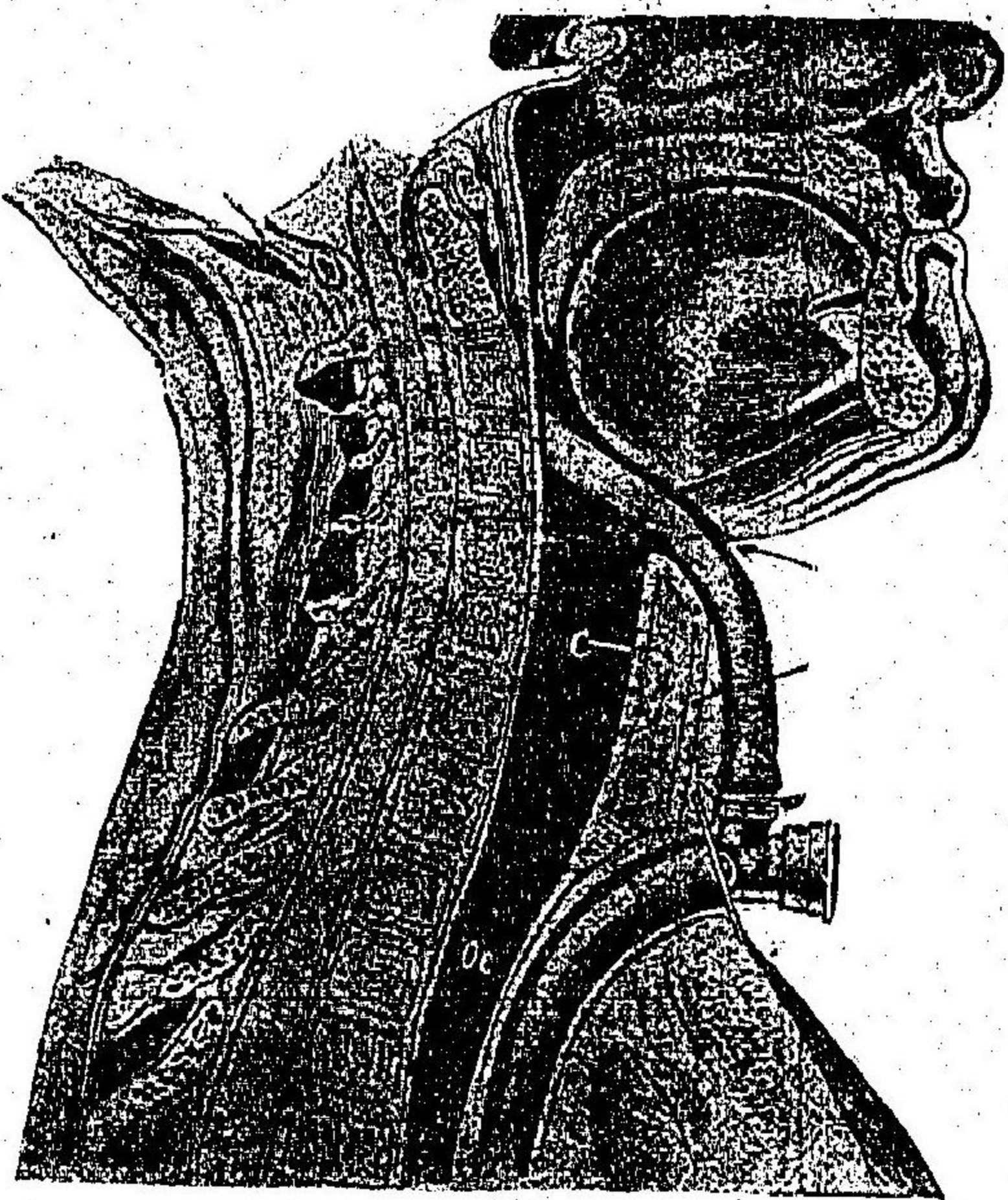


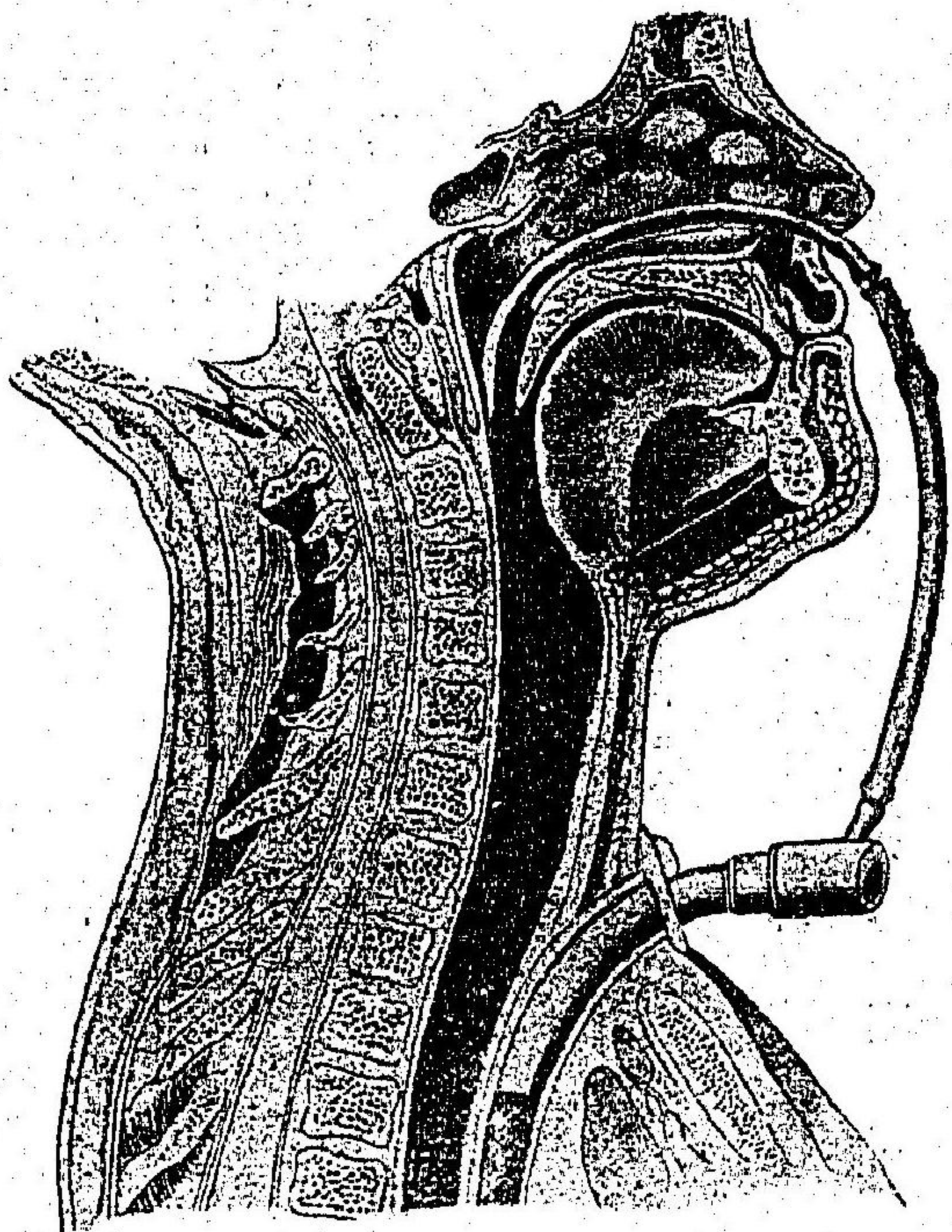
第百二十圖



ラナト氏人工喉頭

ルンス氏及ビウオルフ氏ノ發聲器ヲ取リテ閉鎖器ヲ代用シ。食事終レバ又發聲器ヲ用ウト云フ。グルク氏ハ之ニ反シテ硬護膜ヲ考案シ。其中ニハ水或ハ「グリセリン」ヲ充溢セシメタリ。即チ瘻孔ヨリ入りテ「カニユール」上ニ帽ノ如ク冠ラシムルモノナリ。人工喉頭ノ常用ニハ困難ト不愉快ノ伴フコト既ニ推測セラルベシ。今其ノ症狀ヲ列記セン。咽喉管ハ常ニ刺戟ヲ與フルガ故ニ唾液分泌増進シテ患者不快ヲ感ズルノミナラズ。「カニユール」ノ壓迫ハ往々疼痛ヲ催起スルコトアリ。マタ發聲器ハ靜止時モ亦尋常聲帶ノ如ク開在セザルガ故ニ發聲ノ持續スルヤ呼氣困難起リ遂ニハ鬱悶ニ堪エザルニ至ルアリ。加之患者ノ個性ト職業別ニ依リテ到底發聲器ナド用ユルコト能ザ

第百二十一圖



グーレ氏發聲鼻器

ルアリ。然ル時ハ患者ハ多ク囁語ヲ以テ満足スルガ如シ。從テフォン、ベルヒマン氏及ビミクリツツ氏ノ如キハ概ネ人工喉頭ノ適用ヲ忌ミ。若シ患者ノ手術創治癒シテ猶ホ發聲機ノ不充分ナルヲ感シ訴フル事アレバ茲ニ創メテ應用スト云フ。現今最モ發達シタル考案ハグルク氏ノ發聲鼻器 (d. phonetische Nasenapparat) ナリ。是ハ又咽喉ヲ閉鎖シテ應用スルモノニシテ或ハ永久的ノ器械ナラン。之ヲ略記セン。單簡ナル巧緻ノ器械ニシテ呼氣時ニ閉鎖スル瓣アリ。恰モ氣管管ニ挿入セラ

ル。上部ニハ小ナル側突アリテ鼻腔ヨリ來ル護膜管ノ連鎖スル所ナリ。護膜管ノ鼻腔ニ入ル部位ニハ發聲器アリ。而シテ管ハ更ニ鼻咽腔ニ入りテ懸雍垂ノ後方ニ存在スベシ。發聲器ハ單簡ナル護膜小帶ニシテ金屬管ニ張り。其ノ周圍ニモ亦被覆アリ。發聲ニ供シタル通氣ハ廻轉シテ鼻腔ヨリ咽頭腔ニ入ル仕掛ナリ。概シテ斯ノ裝置ハ出入單簡ナルノミナラズ。其ノ消毒モ亦頗ル容易ナリ。然レモフェデル氏ノ術式ニ倣フテ喉頭ノ横縫合ヲ施行シタル時ハ人工喉頭ノ應用セラレザル勿論ナリ。

第四節 氣管切開法 Tracheotomy.

氣管切開法ハ其適用ノ頻繁ナルノミナラズ。氣管ノ諸手術ニ就イテ考フルニ救命的ノ手術タルコト多ク實地臨床家ニ須要ナリ。且ツ又氣管、喉頭其他ノ手術ニ關シ豫備手術タルコト稀ナラズ。是等ノ關係ハ絮説スルノ必要モ無ク讀者ノ既ニ了知スル所ナルベシ。

適應症 Die Indication.

適應症ハ之ヲ總括的ニ論ズレバ即チ二途ニ出デザルベシ。一ハ自在ナル通氣道ヲ形成スルニ在リ。二ハ聲門以下ノ氣管部位ニ通達セントスルニ在リ。而シテ多クハ一ニ二ノ兩目的ヲ達スベキ必要アルコト屢々ナリ。茲ニハ適應症ニ就キ細論スルノ遑アラズ。只ダ掟

書ノ如ク單説シテ一粲ニ供セン。

- (一) 喉頭及ビ氣管ノ損傷ヲ將來シタル場合ナリ。
 - (二) 氣道中ニ異物ヲ診斷シタル場合ナリ。
 - (三) 喉頭、氣管或ハ其ノ近部ノ炎症アリタル場合ナリ。例令ヘバ實布埋里、粘膜下喉頭炎、水腫、假性格魯布及ビ軟骨膜炎等ノ如シ。
 - (四) 慢性炎症ノ存在シタル場合ナリ。例令ヘバ結核、梅毒、癩其他硬化腫 (Sclerosis) 等ノ如キ是レナリ。
 - (五) 壓迫性狹窄及ビ其他ノ狹窄ノ存在シタル場合ナリ。
 - (六) 神經性疾患 (Neurosen) ナリ。
 - (七) 喉頭及ビ氣管ニ新生物ヲ診斷シタル場合ナリ。
 - (八) 上氣道ニ於ケル諸手術ニ際シテ豫備的施術 (Preliminärer Eingriff) タル場合ナリ。
- 以上列記シタル所ニ由リテ適應症ノ如何ハ略ボ知ルコトヲ得ベシ。此外ニ猶ホ適用スベキハ有毒瓦斯或ハ嘔囉仿膜麻醉ニテ窒息狀態來リ然カモ人工呼吸法ノ奏効ヲ見ザル場合ナリ。或ハ又多量ノ粘液氣管及ビ氣管枝ニ流下シテ呼出困難ナル場合ナリ。ヒウテル氏 (Hüter) ハ亦同一ノ見解ヨリ急性肺水腫ニ於テモ本手術ヲ適用シタルコトアリ。

局處解剖要領

局所解剖要領

Topographische Vorbemerkungen.

氣管切開ノ領域トシテ上方ハ甲狀軟骨ノ下縁ヨリ初マリ。下方ハ胸骨ニ達スベシ。其ノ境界ハ年齢ノ差別アルノミナラズ亦個人ノ別アルヲ忘ルベカラズ。

氣管筋層ハ其ノ上部ニアリテハ淺部ニ存在シテ外部皮膚ヨリ觸診ニ依リテ知ルベキモ亦下部ニ至ルニ從ヒ深部ニ在リ。大人ニ在リテハ氣管前壁ト外部皮膚トノ間ニハ三仙迷ノ軟組織ヲ見ルベシ。從テ外部ヨリ觸診スルコト不可能ナリ。

甲。狀。腺。峽 (Isthmus glandulae thyreoidae) ハ本手術ニ最モ注意スベキ者ナリ。尋常ノ状態ニ在リテハ甲狀腺峽ハ氣管ノ上部ヨリ被覆シテ下部ハ第四氣管環ニ達シ。成人ニ在リテハ環狀軟骨ヲ被覆セザルガ如シ。マタケーニヒ氏 (Koenig) ヒツテル氏 (Huetter) シミングトン氏 (Symington) 等ノ報告ニ基ケバ六歳以下ノ兒童ニテハ環狀軟骨ヲモ被覆スト云フ。マタ屢々峽ノ中央部ヨリ舌狀ノ中葉出ヅ。之ヲ三稜形小葉 (Lobulus pyramidalis) ト云フ。正中線ヨリ出ヅルヨリ寧ロ側方ニ偏セリ。而シテ舌骨ニ達スルコトアリト云フ。例外トシテハ峽ノ全然缺如シタルコトアリ。

甲。狀。腺。靱。帶 (Lig. gland. thyr.) ハ甲狀腺及ビ氣管ヲ固定スルモノナリ。甲狀喉頭靱帶 (Lig. thyreo laryngeum, Hueter.) ハ就中環狀軟骨ヨリ下部ニテ二葉トナルモノニシテ甲

狀腺峽ヲ抱擁ス。手術上注意ヲ要スルモノナリ。斯ノ靱帶ハ大人ヨリ兒童ニアリテ寧ロ發達セリ。

甲狀腺ニ次イデ必要ナルハ血管ナリ。上部ナルモノヨリ列記スルニ甲狀腺上動脈 (Art. thyreoidae superior) ヨリ分岐スル環狀甲狀動脈 (Art. circo thyreoidae) 最モ注意スベシ。是ハ圓錐形靱帶ノ中央ニ於テ横位吻合ヲ形成シ。喉頭内ヘ分岐スルモノアリ。マタ甲狀腺峽ノ上縁ニ於テハ甲狀腺上動脈ノ横枝アリ。且ツ強キ吻合靜脈アルナリ。何レモ腺ニ密接シテ筋膜複壁中ニアリ。從テ外壁ヲ抓上シテ切開スレバ血管ヲ損傷スルコト尠シ。

甲狀腺峽ノ下部ニ在リテハ比較的大ナル靜脈アリ。二乃至四ノ脈管ヨリ成リテ下方へ遊走シ。恰モ氣管ト皮膚トノ間質脂肪組織中ニ在リ。遂ニハ無名靜脈 (V. anonyma) ニ流注スルモノナリ。

脈管破格 (Gefassanomalie) ノ手術上注意スベキモノ尠カラズ。而シテ胸骨上部ニ於テ氣管ヲ切開スルニ當リテ緊要ナルハ甲。狀。腺。前。動。脈 (Art. thyreoidae ima Neubaueri) ナリ多クハ大動脈弓ヨリ分出スルカ或ハ其ノ副枝ヨリ新ニ分岐スルモノナリ。而シテ靜脈ト共ニ走リテ氣管前脂肪組織ニ在リ。甲狀腺ノ下部ニ達スルナリ。是ハグルウベル氏 (Gruber)

ノ十例中必ず一例ヲ見タリト唱フル所ナレモ亦トレンデレンブルグ氏(Trendelenburg)ノ所説ニ從ヘバ臨床上ノ價值甚ダ大ナラザルガ如シ。

猶ホ皮下靜脈モ亦多少注意スベキガ如シ。呼吸促進ノ患者ニ在リテハ充溢シタル皮下靜脈往々視診スルコトヲ得ルナリ。例令ヘバ前頸中央ニアリテハ前頸皮下靜脈(Ven. sub-cut. colli ant.)ノ如シ。氣管切開法ハ手術ノ性質上最も多ク幼兒ニ適用セラ、ガ故ニ亦年齢ニ由リテ生ズル局所解剖上ノ變化ヲ知悉スベキナリ。一大變化ノ將來スルハ春氣發動期ニシテ初メ喉頭及ビ氣管ハ比較的高位ニ在レモ斯期ニ際シ甲状腺ノ肥大甚ダシキガ故ニ之ニ伴フテ喉頭及ビ氣管ハ下位ニ推移スルニ至ルナリ。例之ヘバ成人ニ在リテハ甲状腺峽ト胸骨上縁トノ間隔ニ幼兒ニ於ケルヨリ小ナリ。然レモ環狀軟骨ヨリ胸骨縁マデ測定スレバ成人ニ在リテハ仙迷大ナルヲ見ン。猶ホ詳細ヲ望メババルドレイベン氏或ハツッケルカンデル氏ノ解剖書ノ繼續ヲ薦メン。

解剖上ノ部位ニ從テ術式ヲ區分スルコト多ク用キラル即チ左ノ如クナリ。

- (一) 甲狀環狀軟骨切開法 (Thyreocricotomie) ハ圓錐形靱帶ヲ切斷スル術式ナリ。
- (二) 環狀軟骨切開法 (Cricotomie) ハ環狀軟骨ヲ切斷スルナリ。又同時ニ上部ノ氣管環ヲ切開スレバ環狀氣管切開法 (Crico-tracheotomie) ト稱ス。

(三) 氣管切開法一名甲狀腺上切開法 (Tracheotomia superior s. suprathyreoides) ハ名ノ

如ク甲狀腺峽ノ上部ニ於テ氣管環ヲ切斷スル方式ナリ。

(四) 中氣管切開法一名甲狀腺後切開法 (Tracheotomia media s. retrostrumosa) ハ恰モ甲狀

腺峽部ヲ切斷スルモノナリ。

(五) 下氣管切開法一名甲狀腺下切開法 (Tracheotomia inferior s. infrathyreoides) ハ甲狀腺

ノ下部無名靜脈ノ上部ヲ切斷スル術式ナリ。

以上ハ術式ノ各種類ヲ略記セルモノナリ。而シテ之ヲ實地臨床上ヨリ評價センニハ上氣管切開及ビ下氣管切開ノ二術式ヲ以テ最ト見做スベク。此ノ術式ニ熟達スレバ他ハ推シテ知ルベク。二術式ハ以テ凡テノ標準ト做スベキモノナリ。

氣管切開術式

Technik d. Tracheotomie

器械ハ亦餘ノ施術ニ於ケルガ如ク單簡ナル程便利アルモノナリ。故ニ年月ノ久シキ巧緻ナル器械モ考案セラレタリト雖モ茲ニハ斯ノ如キ史的ニ屬スルハ措テ論述セズ。必要ニ應ジテ順次述ブル所アラン。

一般ニ須要ナルハ一、銳利ナル尖刀二、劍鉤三、甲狀腺峽ヲ固定スル鈍鉤。四、氣管ヲ啄開スル小鉤二箇五、外科鑷子及ビ解剖鑷子各二箇六、有洞消息子七、クウバア氏剪刀

及ビ二三動脈結紮ハ、弾力性「カテーテル」九、「カニューレ」等ナリ。猶ホ必要ニ應ジテハ球狀刀或ハ喉頭ヲ固定スル銳鉤ヲ用意スベシ。マタ氣管切開ノ深部ニ及ブ時ハ氣管前細胞組織ヲ墜下セシメンガ爲メニ鈍鉤ヲ要スルナリ。私立病院等ニテ助手欠如セル場合ハ創鉤ヲ牽引セシムル代リニボーゼ氏 (Bass) 微鉤 (Sperthaken) ヲ用ウルヲ以テ至便ナリトス。但シ氣管ヲ固定センガ爲メニハボーゼ氏微鉤ヨリ寧ロ單箇ノ銳鉤ヲ優レリト做ス。即チ彼ハ上氣管切開ニハ應用スベキモ下氣管切開ニ際シテハ用ウベカラザレバナリ。マタ縫合針及ビ運針器ヲ用意スルコト必要ナリ。是レ屢々出血ニ遭遇スルコトアリ且ツ甲狀腺ヲ損傷スルコトアレバ輒チ穿針シテ止血ヲ謀ルノ必要アレバナリ。醫院外ニ於テ應急手術ヲ施行スル場合ニハケーニヒ氏發火器ヲ携帯スルノ至便アリ。

手術準備ハ事情ノ許ス限リ完全ヲ期スベク。一般外科ノ場合ト異ルコトアラズ。應急ノ場合ニ臨ミテ十分消毒ヲ行フ時間ナキ時ハ外部皮膚ヲ依的兒ニテ拂拭シテ足レリトセシ。或ハ石鹼「アルコール」及ビ昇汞ニテ順次洗滌スルモ亦可ナリ。

患者ノ位置 (Lagerung) モ亦須要ナル事相ナリ。手術臺上ノ患者ハ頸後ニ枕ヲ置キ頭部ヲ稍々屈セシム。然レモ亦此ガ爲メニ呼吸困難ノ起ラザルヲ程度トナシ。助手ヲシテ固定セシム。軀幹ハ皮或ハ卷縛帶ニ依リテ大腿部マデ固定シ。或ハ助手及ビ看病婦ヲシテ

抑留セシム。其際ニ胸部ニ注意ヲ拂テ呼吸支障ヲ誘起セザルベキナリ。

麻酔 (Narcose) ニ就イテハ爾來諸家ノ論争アリテ用キルト用キザルトアリシガ近時ニ至リテハ之ヲ適用セザル外科醫殆ンド無キガ如シ。マタ獨逸派ニテハ多ク嘔囉仿謨ヲ用キ。往時呼吸促進ノ兒童ニ嘔囉仿謨ヲ禁忌シタリシガ臨床上ノ經驗ニ由リ殆ンド認容セラレザルニ至レリ。通常嘔囉仿謨ハ二三滴ニテ麻痺催起ノ効アリ。初メ患者ノ麻酔劑ニ對シテ不安ヲ抱キタル者モ亦暫時ニシテ呼吸安靜トナリ。麻酔前ヨリ良性トナリ。漸次喉頭ノ上下運動モ去リ自覺的呼吸困難及ビ頸靜脈怒張モ亦退減スベシ。要スルニ施術ノ迅速及ビ安全ハ麻酔ノ弱點ヲ補フテ餘アラン。無呼吸期ニ於ケル炭酸中毒ノ如キハ殆ンド目撃スルコトナシ。

成人ニアリテハ全身麻酔ヲ用キズシテ局所麻酔ニテ足レリ。即チ五乃至十%ノ「コカイン」或ハシユライヒ氏液ヲ以テスレバ十分ナリ。特ニ短時間ニテ施術スル場合ニ至便ナリ。

手術ノ實施 (Ausführung der Operation) ハ先ツ前頸部ヲ觸診シテ甲狀軟骨ノ下縁及ビ環狀軟骨ヲ知ルナリ。兒童ニ在リテハ甲狀軟骨ノ隆起弱ク且ツ柔軟ナルガ故ニ環狀軟骨遙ニ顯著ナリ。是ニ於テ皮膚切開ハ同軟骨下縁ヨリ初メ正中線ヲ下リテ三四仙迷切開スル

ナリ。切開ノ大小ニ就イテハ可成の大ナルヲ至便トスベシ。過小ナレバ部位ヲ洞察スルコト極メテ困難ナレバナリ。即チ甲状腺腫ヲ見ザルモ猶ホ胸骨上部マデ切開スルコト殆ンド法ノ如シ。而シテ更ニ状態ヲ察シ上下ノ兩切開法ニ區別スベキナリ。

前頸皮下静脈ハ兩側ニ避ケテ切開ヲ進ム。或ハペアンニテ摘擷シテ切斷スルナリ。然レモ猶ホ可ナルハペアン摘擷ノマ、ニテ兩側ニ措ケバ創鉤ノ代用トモナリ極メテ便利ナリ。故ニ氣管ヲ露呈シテ其ノ切開ヲ終リタル後チ初メテ脈管ヲ切斷スルカ或ハ結紮スルナリ。更ニ進ンデハ胸舌骨筋(M. sternohyoideus)ノ正中界ヲ定ムベシ。斯界ハ恰モ白線トナリテ見ユルガ故ニ出血ヲ注意シツ、層々切開スルナリ。切開ノ施術中ニ側方ヘ避クルヲ患ヒ筋ヲ兩側ヘ牽引シツ、檢スベシ。若シ一側ヘ偏スレバ筋ノ抗抵異ルガ故ニ直覺スルコトヲ得ベシト。マタ切開方式ニ關シテモ諸家ニ由リテ差異アリ。ランゲンベック氏ハ層々鉗子ニテ舉上シツ、切除シ。マタ或人ハ有洞消息子ヲ送入シテ切斷シ。フイッセル氏(G. Fischer)ハ單ニ二脚鉤ヲ筋層ヘ挿入シテ二脚ヲ開大シ中斷セシムルナリ。要スルニ術者ノ適宜ニ熟達シタル所ヲ選ブベキナリ。

胸舌骨筋ヲ切開シテ兩側ニ開キ進ムヤ甲状腺峽及ビ環狀軟骨ハ頸中筋膜ノ薄キ結締組織ヨリ被覆セラル、ヲ見ル。是ニ於テ病變ノ状態ヲ察シ甲状腺峽ノ上部ヲ切開スベキカ將

タ下部ヲ切開スベキカヲ決定スルニ在リ。

上。氣管切開法(Tracheotomia superior)ハ氣管入口部ヲ被フ甲状腺峽ヲ剝離シ。筋膜片ハ正中線ニ於テ開キ氣管切開ニ必要ナル場面ヲ開展スルナリ。兒童ニ在リテハボーゼ氏ニ倣ヒ甲状腺ヲ筋膜後ニ剝離スレバ最モ非觀血のニシテ峽部ヲ露出シ。且ツ廣キ場面ニ於テ上氣管切開ヲ施行スルコトヲ得ベシ。マタ甲状腺頭筋膜(Fascia thyroaryngea)ハ環狀軟骨頭或ハ其ノ下縁ニ於テ約半仙迷ノ横切開ヲ施シ。創下縁ヨリ鉤鉗子ニテ舉上スルカ或ハ有洞消息子マタ剪刀ヲ送入シテ氣管ヨリ筋膜及ビ甲状腺峽ヲ離舉スルナリ。或ハ鈍鉤ニテ一舉ニ剝離スルコトアリ。或ハ筋膜ノ固着シタレバ其縁ニ横切開ヲ入レテ舉上ス。然ル時ハ長卵形ノ創面ヲ得ベシ。

三稜形小葉(Lobulus pyramidalis)ヲ見レバ側方ヘ押シテ避忌シ。或ハ上下ニ剝離シテ之ヲ切斷スルナリ。

下氣管切開法(Tracheotomia inferior)筋層ヲ切開スレバ茲ニ中頸筋膜アリ。而シテ甲状腺峽ノ下部ニ於テ頗ル硬固ナリ。兩鉗子ニテ開クベシ。進ンデ氣管前脂肪組織ニ至ルヤ茲ニ無名動脈ヲ損傷スル危険アリ。故ニ氣管ハ可成的上方ニテ切開スベキナリ。即チ鈍鉤ヲ挿入シテ甲状腺峽ヲ舉上シツ、組織ヲ切ルナリ。大脈管ノ近接セル局所ニ至レバ

注意シテ止血ヲ謀リ場面ヲ精鑑シテ其ノ損傷ヲ防止スベシ。猶ホ出血ヲ見レバ手術創ヲ清淨スルマデ手術ハ中止スベキナリ。肥滿セル兒童ハ頸短ニシテ手術困難ナリ。或ハ氣管ノ縱隔膜ニ隠ル、場合アリ。此ハ鈍鉤ニテ舉上スベシ。施術式ノ如ク進ンテ氣管露セラルレバ茲ニ氣管ノ切開 (Eröffnung der Luftröhre) ヲ施行ス。此際ニ出血點ハ注意シテ悉ク結紮シ止血ヲ謀ルコト必要ナリ。例令ヘバ呼吸運動自在トナリ靜脈出血止ムト雖モ猶ホ半呼吸麻痺ノモノハ窒息スルホド血ヲ嚙下シ居ルコトアリ。故ニ呼吸麻痺ニ際シテハ大ニ手術ヲ神速ニスベキナリ。マタ比較的大ナル脈管ノ近部ニ至レバ「カニューレ」挿入ノ際ニ脈管ノ壓創ヲ惹起スルガ故ニ可成的側方ヘ牽引シテ結紮スルナリ。氣管ヲ開クニハ鈍鉤ヲ兩側ニ懸ケテ正中線ヨリ左右ヘ牽引シテ緊張シツ、施行スルナリ。是レ氣管前壁ハ恰モ麻痺シタルガ如ク遲緩シテ切開ニ不便ナリ從テ之ヲ緊張スレバ一刀ニテ啄開スベケレバナリ。甲狀腺峽ニ至ルヤ上氣管切開ニテハ之ヲ下方ヘ嫌忌シ下氣管切開ニテハ之ヲ上方ヘ避ケテ切開ヲ進ムベシ。刀ハ頭部ヘ向ケテ下方ヨリ上方ヘ切斷スルナリ。切開ノ大小ハ年齢ニ由リテ差異アルベキモ要スルニ適宜ノ「カニューレ」ノ恰當スルヲ目的トスベシ。凡テ異物、狹窄及ヒ腫瘍ニ際シテハ切開創常ニ大ナリ。氣管ノ切開果シテ目的ノ如ク達スレバ一種ノ音響ヲ發シテ大氣ハ氣管ニ注入シ來ル。同時ニ二三ノ咳嗽刺

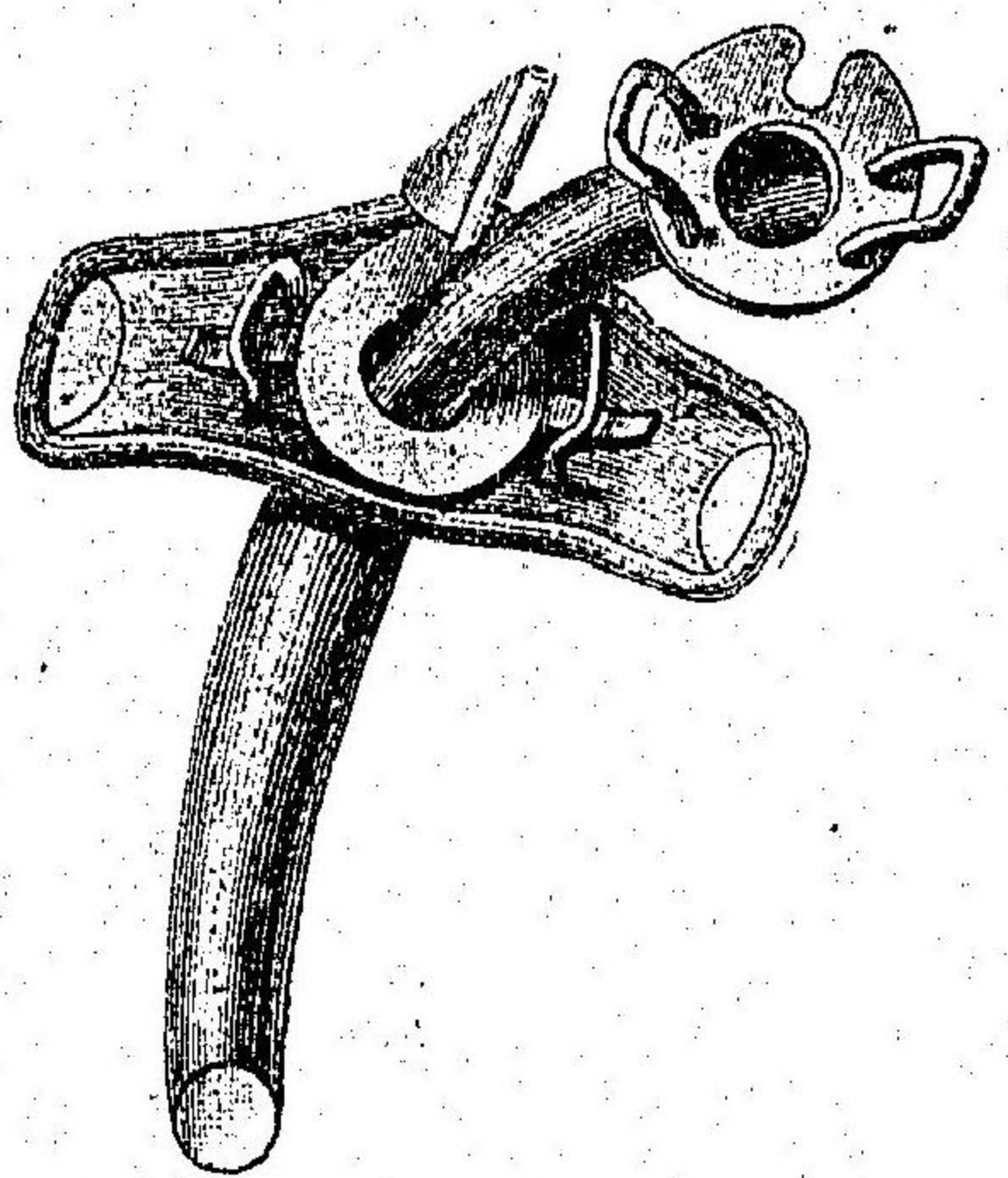
戟アリテ粘液或ハ義膜ヲ咯出スレバ術者ハ手或ハ布片ヲ當テ、之ヲ捕捉スルナリ。往時ハ實布埜里ノ患者ヨリ咯出セラレテ眼ノ實布埜里ヲ傳染シタル例アリ。是ニ於テ患者ハ深呼吸二三回ニシテ通常無呼吸ノ状態 (Stadium der Apnoe) ニ陥リ。數秒或ハ三十秒モ全然呼吸停止スルナリ。是レ炭酸ニ滿チタル呼吸中樞ノ突然酸素ノ過飽ニ遇フガ故ナリ。初學斯ノ事相ヲ知ラザレバ終ニ迷フコト稀ナラズ。

呼吸運動ハ直ニ自由トナラズ。「カテーテル」ヲ挿入シテ刺戟スルモ猶ホ呼吸營爲起ラザレバ人工呼吸或ハ人工吸出ヲ行フニ在リ。クルッケンベルグ氏 (Krukenberg) ハ金屬製「カテーテル」ヲ適用セリ。然レ是レハ術者傳染スルノ危険アリ (實布埜里ノ如シ) 故ニガレイ氏 (Garre) ハ「カテーテル」ノ一端ニ綿塊濾過ノ裝置ヲ施セリ。マタアルベルト氏 (Albert) ストロローアイエル氏 (Strover) 及ビパスサワント氏 (Passavant) ハ護膜球ヲ以テ吸出ヲ謀ルト云フ。

呼吸運動平靜ニ歸シ自在トナルヲ見レバ茲ニ初メテ「カニューレ」挿入ヲ行フ。切開創適當ニシテ鈍鉤ヲ應用スレバ其ノ施術容易ナリ。創孔小ナルモ決シテ「カニューレ」ヲ無理ニ挿入スベカラズ。即チ球刀ヲ以テ小創ヲ廣ゲ更ニ挿入スベキナリ。適當ニ「カニューレ」ノ挿入シタルヲ見レバ初メテ鈍鉤ヲ去リ。沃度ホルム、「ヨドール」或ハ「アイロー

ル」ヲ散布シテ沃度「ホルム」ノ「ガ―ゼ」ヲ以テ「タムボン」ト做シ、ガニューレ」楯ニハ上方ヨリ壓迫「ガ―ゼ」ヲ當テ。其上ニハ更ニ綑帶ヲ施ス。

氣管切開法ノ効果ヲ收メンガ爲メニ猶ホ必要ナルハ「カニューレ」ノ選擇ナリ然レモ茲ニ「カニューレ」ノ材質或ハ種類ニ就イテ詳論スルノ違ナシ。故ニ代表的ノ二三ニ就イテ述ベン。著者ノ賞用スルモノハ圖



圖二百二十二

「レ」ニカ」製氏ル」ユリ

ノ如キ銀製リユール氏複「カニューレ」(Luersche Doppel canule)ニシテ無窓ノモノナリ。其ノ優點ニ就イテハ後章述ブルコトアレバ省略セン。兒童ニ適用スルモノハ金屬製ノモノニシテ全徑小ナルモ亦管腔ノ大ナルヲ便益ナリトス。是レ即チ管壁

ノ菲薄ナルモノナルナリ。

「カニューレ」ノ屈曲度ハ必ず五分一乃至四分一圓ノモノヲ選擇スベシ。是レ内「カニューレ」ノ硬固ナルヲ挿入スルガ故ナリ。マタ諸家ニ由リテ屈曲自在ナル内「カニューレ」

ヲ用ウレモ亦施術上不便ノ點尠カラズ。特ニ小徑ノ者ヲ適用スル場合ニハ優點ナクシテ欠點アルノミ。從テ一般ニ諸家ノ認容スル所トナラズ。茲ニバッサワント氏ノ揭示スル標準アリ。クック氏(Cook)ノ表ハ何レモ是レヨリ稍々小ナリ。

年齢	一歳-二歳	二歳-四歳	四歳-六歳	六歳-八歳	八歳-十歳	成人
氣管徑	五-六	七	八	九	十	十二-廿三
外「カニューレ」徑	五、五	六、五	七、五	八、五	九、五	十一-十三
内「カニューレ」徑	四	五	六	七	八	九-十一
「カニューレ」長	百十一度	百一度	九十六度	百二度	百三度	百三度
「カニューレ」短	七十六度	八十一度	八十三度	八十五度	八十二度	八十一度
球側ノ屈曲	十九	二十一	二十三	二十四	二十五	二十九

年齢ニ由リテ來ル差異ハ前表ノ如シト雖モ亦個人的ノ大小不同決シテ免ルベカラズ。故ニ術者ノ思惟シタル「カニューレ」ト相近遜シタル一二ノ「カニューレ」ハ常ニ同意スレバ極メテ便利アルナリ。且ツ「カニューレ」ノ下端ハ圓滑ニ切リテ決シテ稜角ヲ爲サルヲ選擇スベシ。

手術中の偶發危險 (Ueble Zufälle während der Operation) ハ術者ノ不覺アレバ勿論頻發スベシト雖モ亦術者ノ毫モ關知セズシテ疾患ノ性質上屢々之ヲ見ルコトアリ。患者ノ漸次手術ノ必要ナルヲ認め迅速ニ醫家ヲ訪問スルニ至レバ從テ手術ノ危險モ亦減少スベキコト明カナリ。

出血 (Blutung) ヲ見ルコト亦屢々ナリ。最モ急激ノ場合ニシテ豫防的ニ「クレムメ」ノ適用モ許サザル時ハ即チ神速ニ「カニユーレ」ヲ挿入シテ氣管ヲ抑壓シ。患者ハ手術臺上ニ起コシ以テ外部ニ流出セシメ。速ニ止血ヲ講ズベシ。著者等ハ殆ンド此ノ如キ危期ニ遭遇シタルシコトナシ。出血モ多クハ甚ダシキコト尠ク。創面ヨリノ出血ハ殆ンド恐ル、程ナラズ。環狀甲狀腺動脈ヲ損傷スレバ初メテ危險ナリ。マタ氣管ノ側面ヲ損傷シ或ハ無名動脈ヲ切傷スレバ甚ダ危險ナレモ亦局所剖解ヲ一覽スレバ此ノ如キ失策ヲ見ルコト稀ナリ。

窒息状態 (Asphyxie) ハ患者長キ狹窄症ヲ訴フレバ手術中ニ來ルコトアリ。マタ喉頭ノ突然閉塞アリテ來リ。麻醉ニ由リテ不慮ノ窒息來ルコトアリ。窒息症狀ヲ見レバ手術ハ迅速ニ終了スルカ或ハ中止ス。而シテ人工呼吸或ハケニーヒ氏心臟摩擦 (Herzmassage nach Koenig) ヲ施行ス。手術ノ直接ニ窒息ヲ將來スルハ頭部ノ甚ダシキ後屈或ハ氣管

ノ牽引性屈曲ノアル場合ナリ。著者等ハ二鉤ヲ以テ氣管ヲ固定スレバ安心ミテ刀ヲ進ムベシト思フ。即チ氣管ノ固定確實ナレバ粘膜ヲ剝離スルコトナク。マタ氣管若シクハ食道ノ穿孔ヲ將來スルコト殆ンド無ケレバナリ。軟骨膜炎アレバ「カニユーレ」ト粘膜トノ間ニ排膿アリテ「カニユーレ」ノ流下スルコトアリ。是レ「カニユーレ」挿入ヲ急速ニスルノ弊ナリ。故ニ切開シテ暫時傍觀シタル後チ挿入スレバ此ノ如キ失策ヲ見ルコトナシ。

後療法

Nachbehandlung

後療法

氣管切開ノ最モ適應セル實布埜里患者ハ後療法中ニ或ハ窒息スルコトアリ。是レ醫家及ビ看病婦ノ深ク注意スベキ點ナリ。

最モ注意スベキハ患者ノ呼吸運動ナリ。即チ日夜注意ヲ怠ラズ若シ呼吸支障ヲ見レバ其ノ原因ヲ探求シテ所置法ヲ講ズベシ。就中屢々目撃スルハ「カニユーレ」ノ閉塞ニ因スルモノナリ。而シテ剝離セル義膜ノ停留ニ由ルコト尠ク寧ロ分泌物ノ蓄溜シテ通氣ニ觸レ漸次乾燥シテ粘膠ノ結痂ヲ形成スルニ由ルガ如シ。從テ内「カニユーレ」ハ時々交換シテ根本的ニ清淨ニシ又消毒スルコト最モ必要ナリ。其ノ清潔法ハ「ガーゼ」片ヲ以テスルカ或ハ消息子ニ捲布シテ挿入スレバ十分ナリ。マタ内「カニユーレ」ノ清潔法十分ナルモ猶ホ内外「カニユーレ」ノ端々相接スル所ニテ皮膚性枷皮アリ。窒息ヲ將來スルコトア

ルナリ。此ノ場合トレンデレンブルグ氏ハ内「カニユーレ」ヲ拔出シテ防止スト云フ。英國ノ諸家ノ賞用スル内「カニユーレ」ノ外「カニユーレ」ヨリ長キモノハ斯ル場合ニ恰當セ
ルモノナラン。内「カニユーレ」ノ挿入挿出ニ際シテ毫モ影響アラザレバ外「カニユーレ」
モ亦挿出スベキナリ。

分泌物結枷ヲ防止スル良法ハ一アリ。即チ濕氣ノ大量ヲ吸入セシメ濕潤ナラシムルニ在
リ。其法ハ即チ蒸氣「スブレイ」(Dampspray)ニシテ病床ヲ隔ル一乃至一半仙迷ニ裝
置シ患者ノ頸部ニ散霧スル方法ナリ。床上ハ濕潤スル患アレバ防水的ノ裝置マク必要
ナリ。藥液ノ恰當ナルハ種々アレモ石灰水、食鹽水及ビ「グリセリン」等最モ可ナリ或
ハ殺菌水ニテモ亦十分ノ奏効ヲ見ルベシ。マタ蒸氣ヲ發生スル一裝置ヲ置イテ是レヨリ
通管シテ「スブレイ」ト連ルヲ便アリト云フ。バギンスキイ氏(Baginsky)ノ如キ是レ
ナリ。又ハ石灰水、格魯兒水、乳酸、撒利知兒酸等ノ點滴ヲ賞用スル人アレモ蒸氣「ス
ブレイ」ノ勝レルナリ。

呼吸支障ノ粘膜痂皮或ハ義膜塊ト爲リテ「カニユーレ」下部ニ存在スル時ハ「カテーテル」
或ハローゼル氏蹄係ニ由リテ除去ヲ試ムベシ。下行性格魯布ニ際シヒウテル氏ハ吸出法
ニ由リテ奏効アリト唱フレモ徒ニ術者ニ傳染スルノ患アルノミ。蓋シケーニヒ氏所説ノ

如ク一時的効果アルノミナラン。危險症狀ナケレバ「カテーテル」或ハ爾餘ノ器械ヲ挿入
シテ氣管ヲ刺戟スルノ却テ危險ナルナリ。

「カニユーレ」ノ交換(Wechsel der Canuele) 施術ヨリ數日間ハ危急ノ場合ヲ除キ交換ス
ベカラズ。是レ強固ナル創管ノ形成セザレバナリ。然レモ危急ナル場合カ或ハ「カニユー
レ」ノ恰當セザルヲ認ムレバ茲ニ注意ヲ拂フテ交換スルノ余儀ナキナリ。此時ニ際シテ
ハ手術ノ時ト同ジク臺上ニ載セ氣管壁ハ兩鉤ニ由リテ固定スベシ。而シテ氣管内施術ノ
必要ナケレバ單ニ用意セル第二「カニユーレ」ヲ交換挿入スルヲ以テ足レリトス。マダ恰
當セル弾力性「カテーテル」ヲ「マンドリン」トナシ「カニユーレ」ヲ被へ挿入スルヲ至
便トス。是レ諸家ノ等シク認ムル所ナリ。

後期ニ至リ肉芽増生シテ強固ナル創管生成スレバ隨意ニ「カニユーレ」ヲ交換スルモ亦格
別ノ危險ニ遭遇スルコトナシ。只ダ氣管ノ切開創ハ甚ダシキ收縮性ヲ有スルガ故ニ長時
「カニユーレ」ヲ挿出スベカラズ。或ハ數分間挿出シタルノミニテ舊「カニユーレ」ノ挿
入ヲ許サルニ至ルコトアリ。注意スベキナリ。

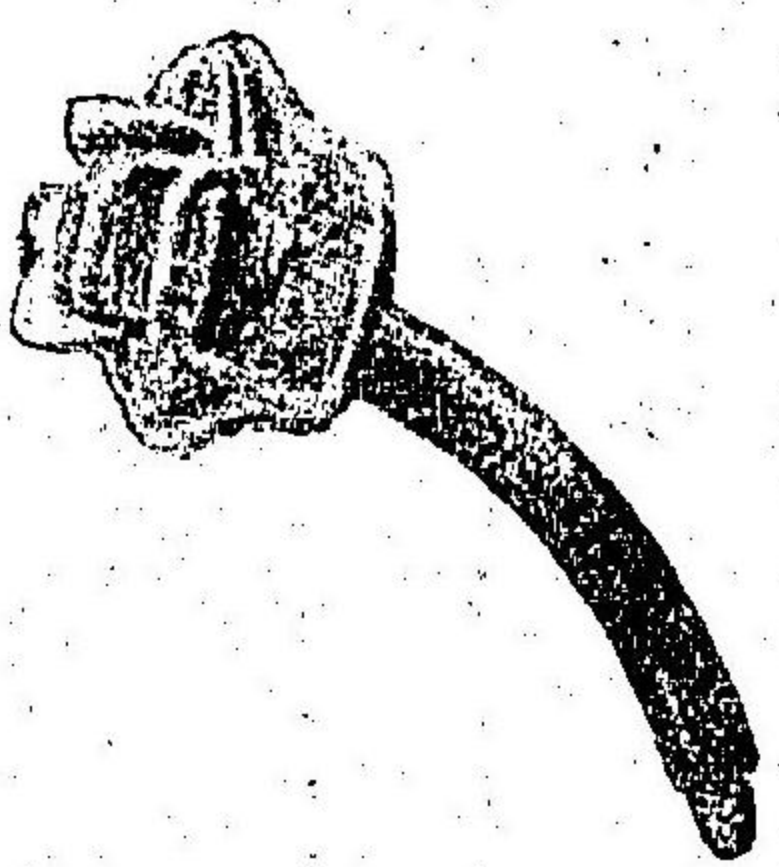
「カニユーレ」ノ挿除(Décanulement)ヲ行フモ支障起ラザルハ即チ喉頭ノ通氣十分確
正トナレル時期ニ於テスベシ。然レモ實布怪里患者ニアリテハ多少異リ。シユルレル氏

(Schuller) ハ經過性ナルモ手術後四日ヲ經ザレバ挿除スベカラズト云フ。一般ノ「カニ
ューレ」挿除ハ疾患ノ性質ニ由リ又ハ術者ノ流儀ニモ由リ差異アルベキモ平均シテ云ヘバ
既ニトルツソー氏 (Traussan) ノ唱言セル如ク四日目乃至十日目ナリ。

「カニューレ」挿除ノ施術ニハ種々ノ方法アリ。先ヅ「カニューレ」ヲ杜絶シテ猶ホ通氣
アルカ否ヤヲ試ミ。果シテ通氣アレバ茲ニ挿除ヲ行フ。兒童ニアリテハ猶ホ「カニューレ」
ヲ杜絶シタルマ、一夜試験シテ果シテ支障起ラザルヲ見テ挿除ヲ行フハ注意深キ術者ナ
リ。此外ニ床上ニハ後療用「カニューレ」ヲ用意シテ何時ニテモ臨機挿入シ得ベキヲ期ス
ベシ。

往々窓形「カニューレ」ノ慣用ノ爲メ用キラル、コトアリ。即チ内「カニューレ」ヲ除去シ

圖三十二百第



「カニューレ」ヲ挿除シタル後チハ切開創ニ單筒ナル被覆繃帶ヲ施シ。數日間監視スベ
シ。マタ「カニューレ」ノ挿入シタル間ハ創縁ニ能ク注意シテ「ラノリン」或ハ亞鉛華
軟膏ヲ貼布シテ皮膚炎若シクハ濕疹ノ發生ヲ防止スベキナリ。
後療法中ノ偶發症 (ueble Zufalle in der Nachbehandlung) ヲ述ベニ手術ト關係アル
モノ或ハ局所的治癒障害ヲ胃頭ト做サン。
氣腫 (Gewebsemphysem) ノ發生ハ既ニ述ベタルガ如ク「カニューレ」ノ氣管ヲ脱スルガ
爲メニシテ下氣管切開ニ際シテ屢々見ル所ナリ。是レ創縁ノ腫張起リテ瘻管狹小トナリ
或ハ最初「カニューレ」孔ヲ小サク取ルガ故ナリ。マタ恰當ノ「カニューレ」ニテモ亦固定
不十分ナレバ咳嗽ニ由リテ移動シ。不注意ナル「カニューレ」交換或ハ看病者ノ「カニ
ューレ」ヲ挿除スルニ由リ或ハ患者自ラ夢中ニ挿除スルニ由リテ氣腫ヲ將來スルコトア
リ。或ハ時ニ窒死ニ頻スルコト無キニアラス。
軟骨壞死 (Nekrose der Knorpel) ハ實布埜里ノ創腔ニ傳搬スルニ由ルモ猶ホ氣管前組織
ノ蜂窩織炎起リ次テ軟骨膜炎ノ續發スルガ爲メニ誘起スルコト尠カラズ。ベルヒマン氏
及ビ諸家ノ所説ニ由レバ此ノ症狀ヲ見ル比較的環狀軟骨ニ多キガ如シ。

テ呼吸運動ニ注意シ一旦支障起レバ即チ内「カニューレ」ヲ拔出シテ其急ヲ救フナリ。
「カニューレ」ヲ挿除シタル後チハ切開創ニ單筒ナル被覆繃帶ヲ施シ。數日間監視スベ
シ。マタ「カニューレ」ノ挿入シタル間ハ創縁ニ能ク注意シテ「ラノリン」或ハ亞鉛華
軟膏ヲ貼布シテ皮膚炎若シクハ濕疹ノ發生ヲ防止スベキナリ。
後療法中ノ偶發症 (ueble Zufalle in der Nachbehandlung) ヲ述ベニ手術ト關係アル
モノ或ハ局所的治癒障害ヲ胃頭ト做サン。
氣腫 (Gewebsemphysem) ノ發生ハ既ニ述ベタルガ如ク「カニューレ」ノ氣管ヲ脱スルガ
爲メニシテ下氣管切開ニ際シテ屢々見ル所ナリ。是レ創縁ノ腫張起リテ瘻管狹小トナリ
或ハ最初「カニューレ」孔ヲ小サク取ルガ故ナリ。マタ恰當ノ「カニューレ」ニテモ亦固定
不十分ナレバ咳嗽ニ由リテ移動シ。不注意ナル「カニューレ」交換或ハ看病者ノ「カニ
ューレ」ヲ挿除スルニ由リ或ハ患者自ラ夢中ニ挿除スルニ由リテ氣腫ヲ將來スルコトア
リ。或ハ時ニ窒死ニ頻スルコト無キニアラス。
軟骨壞死 (Nekrose der Knorpel) ハ實布埜里ノ創腔ニ傳搬スルニ由ルモ猶ホ氣管前組織
ノ蜂窩織炎起リ次テ軟骨膜炎ノ續發スルガ爲メニ誘起スルコト尠カラズ。ベルヒマン氏
及ビ諸家ノ所説ニ由レバ此ノ症狀ヲ見ル比較的環狀軟骨ニ多キガ如シ。

褥創 (Druckgeschwür) ノ頻發スル部位ハ即チ「カニユーレ」下端ノ接觸スル氣管前壁ナリ。マタ稀ニ後壁ニ於テ褥創ヲ見ルコトアリ。是レ「カニユーレ」凸側ノ壓迫加ハルガ爲メナリ。此ノ偶發症ノ屢々來ルハ窓形「カニユーレ」ヲ用ウル場合ナリ。特ニ其窓ノ遠ク下方へ達スル場合ナリトス。マタ「カニユーレ」縁ノ稜角アル運動裝置ノ不完全ナル等凡テ「カニユーレ」選擇ノ不備ナルガ故ニ氣管及ビ其ノ軟部ノ局所ニ恰當セザレバナリ。褥創ノ臨床的症候ハ局所疼痛ト、發熱(四十一度マデ上ル)及ビ血性喀痰等ナリ。「カニユーレ」ヲ拔出シテ檢スレバ下端ニ血判アリ。或ハ褥創舊ケレバ銀ハ硫化シテ黑色ヲ呈スルヲ見シ。猶ホ「カニユーレ」ノ下部ニ於テ腫張來リ呼吸障害甚ダシキニ至ルコトアリ。褥創ノ豫防ヲ講ゼンニハ須ク「カニユーレ」ノ選擇ニ注意スベシ。斯ク選擇ニ意ヲ注グト同時ニ挿入ノ施術モ亦惟念シテ患者ノ狀態良好ナレバ決ジテ失策ヲ見ルコト無カラシ。出血 (Blutung) ノ後療中ニ見ルモノ初發 (Primäre) 及ビ次發 (secundäre) ノ二種類アリ。初發後出血トハ多ク手術後日淺クシテ來ルモノナリ。例令ヘバケーニヒ氏ハ手術十八時間ニシテ出血シタルヲ見。ケルマウチル氏 (Kannauer) ハ四日目ニ出血シタルヲ見。マタゼンニイ氏 (Jenny) ハ之ヲ統計シタルニ二十五%ハ三日目ニ出血來ルガ如シト云フ。出血ノ原因ハ既說セルガ如ク褥創、實布埜里膜剝脫、肉芽損傷(「カニユーレ」交

換時ニ) 及ビ人工吸出法ノ亂用等ナリ。是等ノ出血ハ左程恐ル、ニ足ラザルモ亦往々致死の出血ノ前驅タルコトアリ。而シテ致死の出血ヲ見ルハ多クハ下氣管切開ニ際シテ來ルモノニシテ上氣管切開ニ於テ目撃シタルハ一二屈指ノ類例アルノミ。次發後出血ノ發生ニ就イテハ二種ノ誘因アルガ如シ即チ。

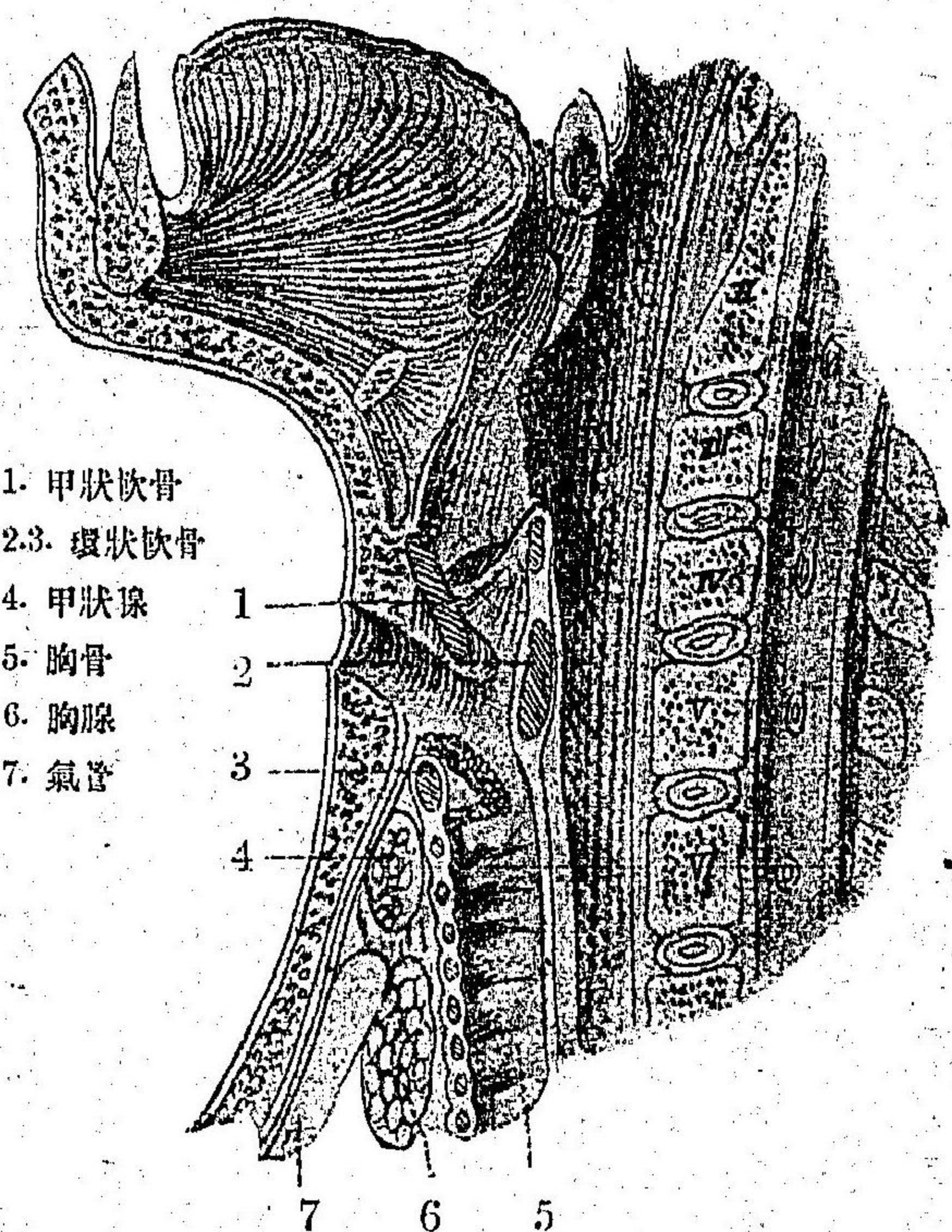
(一) 實布埜里及ビ「フレグモーチ」來リテ脈管壁ノ浸蝕ヲ受クル場合ナリ。マタ稀ニハ創面傳染ヲ認ムルコトナク氣管ノ穿孔來ルコトアリ。而シテ穿孔ノ動脈ニ近接シタル場合ハ最モ危險ナリ。

(二) 「カニユーレ」壓ニ由リテ氣管壁ノ一部壞死ニ陥ルコトアルナリ。斯ノ誘因ハ比較的多ク認ムルモノナレモ亦第一ノ場合ト混錯シテ來ルコト稀ナラズ。從テ氣管壁ト動脈腔ト直接ニ連通スルコト屢々ナリ。特ニ「カニユーレ」下端ノ恰當スル部位ニ來ル。マタ下氣管切開ニ際シテハ無名動脈ノ近部ニ壞死ノ將來スルヲ見ルナリ。即チ無名動脈ノ穿孔ハ「カニユーレ」凸側ニ多ク先ヅ背面ニ來ルモノトス。

「カニユーレ」挿除ノ困難 (Erschwerung der Decantlements) モ亦後療中ニ屢々遭遇スル所ニシテ其ノ原因ニ就イテハケーニヒ氏 (Kochl) ノ研究ニ信賴スベキナリ。其ノ原因ハ種々アレモ茲ニハ略記シテ二三ノ必要ナルモノ、ミニ止マラン。

肉芽性狭窄(Granulationsstenose)ノ將來スルハ多ク常ニ上角ナリ。然レモ稀ニハ下角ニ來リ。マタ手術創全縁ヨリ發生スルコトアリ。喉頭ニ於テハ更ニ切開創ニ密接セズシテ隔リテ肉芽増生スルアリ。又ハ「カニユーレ」下端或ハ凸側ニ恰當シテ瘻創生ジ。是ヨリ更ニ肉芽増生ヲ將來スルコトアリ。肉芽ハ初メ廣底ニテ發生スルモ亦漸次其ノ柄部細長トナリ形状「ポリープ」ノ如クナルナリ。是レ人工吸出法ニ依ルト云フハコッホ氏ノ所説ナリ。肉芽性狭窄ノ起ルハ第五日以降ナリ。通常「カニユーレ」ノ挿除不可能ナルカ或ハ困難ヲ感ズルニ由リテ術者ノ注意ヲ引クナリ。時ニハ「カニユーレ」ノ挿除ヲ行フテヨリ數週ノ後チ創面治癒不良ニシテ又タ呼吸困難ヲ將來スルコトアルナリ。即チ癩痕性肉芽腫(Nathen Granulom)ナリトス。是レ初期ヨリ存在シタルモ微小ニシテ症候ヲ見ルニ至ラズ。漸次増殖ト腫張ト起リ。マタ基底ヨリ癩痕收縮起リテ自覺的症候ヲ見ルニ至ルナリ。症候ノ注視スベキハ呼吸障害ナリ。是レハ「カニユーレ」ノ挿除ト同時ニ起ルカ或ハ數日ノ後チ瘻孔縮小シ又肉芽腫張シテ起ルコトアリ。癩痕性肉芽腫ニアリテハ呼吸障害ノ起ル一般ニ後期ナルハ既ニ述ブル所ノ如シ。呼吸障害ハ往々増激スルコトアリ。是レヲ誘起スルハ精神上並ニ身體上ノ興奮ナリ。血行並ニ通氣ノ需要増加ナリ。マタ仰臥スレバ肉芽腫後壁ニ墜チ或ハ聲門ヲ杜絶スルガ故ニ呼吸困難ノ起ルコト著明ナリ。

第百二十四圖



- 1. 甲状軟骨
- 2,3. 環状軟骨
- 4. 甲状腺
- 5. 胸骨
- 6. 胸腺
- 7. 氣管

去シ一ハ肉芽ノ再發ヲ防止スルニ在リ。肉芽除去ハ極メテ單簡ナレモ亦其ノ再發ヲ防止スル容易ナラズ。第一ノ目的ヲ達センニハ即チ瘻孔ヨリ微小ノ銳鉤ヲ挿入シ或ハキリアン氏(Kilian)ノ複

コノ療法ヲ講ズルニ先ダチ必ズヤ其ノ原因ニ鑑ミ豫防法ヲ考案スベキナリ。例令ヘバ肉芽増殖セズ氣管軟骨モ弾力性ヲ保有スルノ適時ニ「カニユーレ」ノ挿除ヲ行ヒ。切開ノ創長ヲ適當ニシ。窓形「カニユーレ」並ニ上氣管切開(特ニ環状氣管切開法)ヲ禁忌スルニ在リ。然レモ亦此ノ如キ注意ハ各例ニ就イテ異リ概言スルヲ得ズ。療法トシテハ一ハ肉芽ヲ除

ユレット」ヲ用ウ。此時患者ノ頭部ヲ垂下セシメ瘻孔小ニ過グレバ切開スルモ可ナリ。光線不十分ナレバ喉頭「ラムプ」ヲ用ウベキモ亦多クハ反射鏡ニテ足レリ。瘻孔閉塞シタル場合ベッケル氏 (Boecker) ハ口腔ヨリ洋銀製「カテーテル」ヲ挿入シテ肉芽組織ヲ除去スト云フ。猶ホ單簡ナルハホルトリニイ氏海綿 (Volkowischer Schwamm) ヲ挿入シテ之ヲ掃除スルニ在リ。ブルンス氏等ハ常ニ之ヲ賞用セリ。

癥痕性狭窄 (Narbenstenose) ハ肉芽性狭窄ニ次イデ屢々見ル所ナリ。而シテ軟骨ノ大小壞死ニ由リテ誘起セラル、コト多シ。ベルヒマン氏ノ實驗ニ由レバ環狀軟骨ニ見ル壞死最モ多ク。從テ癥痕性狭窄ノ起ルモ亦多シ。次ニ屢々見ルハ甲狀軟骨ナリ。癥痕生成ハ壞死ニ續發スル多シト雖モ亦屢々創ニ繼發スル尠カラズ。癥痕性狭窄ハ廣汎性ノモノト限局性ノモノト區別スルヲ得ベク。限局性ノモノハ發生スルニ好發部アリ。例令ヘバ創緣上角、「カニューレ」下端部及ビ後壁ナリ。マタ實布埜里ニ際シテハ手術ヲ俟タズシテ聲門下狹窄ヲ見ル。

コノ療法ハ喉頭内手術或ハ插管法ニテ足レリ。其ノ條下ヲ參照セラル、ヲ望ム。

咽喉頭手術篇終

産科婦人科學界之雙絶

醫學博士 佐藤勤也先生著 (全貳册)

新訂 實用婦人科學

全貳册

正價 金 五圓

書留小包料 廿四錢

▲總紙員一千三百餘頁
▲美裝金文字入本綴
▲着色石版圖二十八表
▲緻密寫真版
▲寫真精版圖三十四個
▲精巧密書總計五百個

新訂十一版全備完成前卷

正價 貳圓 卅錢

近時婦人科學の發行せらるゝもの甚だ尠からざるにも關らず實用婦人科學の需用は益々増加し年々歳々改版に次ぐに改版を以てし今や後卷第十一版を出し全部完成を告るに至れり固々斯學の進歩發達に因るも雖も本書が他に比すれば其内容に於て著しく面目を改めたり伏して庶くは層二層の愛讀を賜はらんことを

醫學博士 佐藤勤也先生著 (全二册)

新訂 實用産科科學

全二册

正價 金 四圓

▲書留小包料 廿四錢
▲總紙員約壹千頁
▲着色石版、木版 廿六表
▲緻密寫真版
▲着色精版圖二十七個
▲寫真精版五十四個
▲精巧密書三百四十九個

前卷 正價 金 貳圓 郵稅 十八錢

後卷 正價 金 貳圓 郵稅 十八錢

製本 頗美裝金文字入) 本綴

醫學博士佐藤勤也先生著

醫學研究 廻顧 纂錄

菊全 壹冊

精巧石版寫真版數表
其他木版寫真版
總計三十五個
紙頁四百七十頁
正價一圓六十錢
郵稅一圓二十錢

本書ハ佐藤先生ガ明治二十三年十月東京醫科大學ヲ出デ同四十年四月博士ノ學位ヲ受領セラル、マデ約十有六年間不倦不怠消滴穿石ノ精力ヲ以テ研究セラル或ハ學會ニ或ハ醫事雜誌ニ報告シテ頗ル醫學界ノ注目ヲ牽キタル論文壹百篇ヲ蒐集セシ者ニテ其豊富ニシテ而カモ珍奇ナル材料ハ以テ實地醫家ノ好箇參考トスルニ足ルベク其説明ノ周到ニシテ懇篤ナル實驗例ハ受驗生諸君ヲシテ髣髴先生ノ臨床講義ヲ聽クノ思ヒアラシムル者アリ本書ハ固ト先生ガ學位受領紀念ノ爲メ知友ニ頒タレタル者ナルガ印刷殘本アリ前記實費ヲ以テ發賣ス實地醫家并ニ學生諸君、幸ニ愛讀ヲ賜ヘ

大增補大改訂 第四版發行

平出謙吉先生纂著

增補實用小兒病學 全一冊

全一冊

●▲正價 四圓 小包料 廿四錢

▲美裝金文字入堅牢本綴▲總紙約壹千數百頁▲精巧寫真木版▲參考圖畫百六十有餘個挿入

●▲正價 四圓 小包料 廿四錢

●▲正價 四圓 小包料 廿四錢

目次

總論 序説 小兒身體ノ度量及發育 小兒器關ノ生理的特異 小兒發育法及保護法 原因論 病兒檢診法 小兒一般ノ處置及治療法
各論 初生兒疾患 體質的諸病 急性傳染病 泌尿生殖器病 呼吸器病 心臓及血管病 消化器病 泌尿生殖器病 皮膚諸病 感覺器病 脊柱彎曲 中毒諸症
附録 索引 兒科藥物及ヒ處方例叢

本書が小兒 參考書として 診断上の指針として 價値を有する病研究の 斯界の評定あり。豈に幾多の街衢的數字を排列するに過ぎず。第四版は愈々本書生來の理想たる實用上の要求 内容の競新と圖書の争與に至り、幾段の光彩を添せざるを得ず。如く精密に、此の如く忠實に、遺 改版を累ねたるもの殆ど未會有の筆に成り、而かも此の如き世の 歡迎を受くるは蓋し本書 價値が如何に大なるかは、偏に識者の判定に委す。道に忠實なる諸氏に贈むるは當に弊舖の利益のみにあらざるを信す。

愛知醫學專門學校教授醫學士奈良坂源一郎先生著

增補局所解剖學講本 全壹冊

全壹冊

●▲正價 金一圓八十錢 郵稅十二錢

●▲正價 金一圓八十錢 郵稅十二錢

●▲正價 金一圓八十錢 郵稅十二錢

增補簡明胎生學 全一冊

全一冊

●▲正價 金一圓八十錢 郵稅十二錢

醫學博士 河本重次郎先生校閱
醫學博士 井上通泰先生校閱
醫學得業士 海老原宗作先生纂著

實用眼科治療寶函

全二冊 密書入
後卷續出

前卷發行●密書冊個入●正價六十錢●郵稅六錢
眼科治療寶函其發行ノ辭ニ云ヘルアリ曰ク一本書ハ洋ノ東西ナリ
ハズ現時ノ眼科學界中最新且重要ナル療法ヲ採集シ來リ可能
簡明ニ之ヲ序述シ旁ラ各病下ニ其原因及症候ノ要點ヲ摘録セシ
ニ務メタリ以テ學生ニハ考試ノ準備トナリ實地ニハ平素ノ良友
トナリ將又哨哨ノ場合ニ際シ之ガ正確ナル指導者トシテ其友
ヲ著者ハ誠ニ久シク醫科大學ニ在リ眼科ヲ研究シ後故山ニ歸リ
病ニ從事スルノ傍ラ此著ヲ公ニスルニ真ニ斯學ニ忠實ニシテ今
アラスンバ能ハザル所ナリ加フルニ眼科學界ニ將又文學界ニ今名
ニ高キ井上博士ノ校閱ヲ重メルニ眼科學界ノ泰斗河本博士ノ再閱
ヲ以テセラレタリ

醫學博士 實習細菌學

第六版總論(完) ○插圖五十六幅
○正價金一圓四十錢
○郵稅金十二錢
第六版各論(上) ○正價金一圓七十錢
○郵稅金十二錢
第六版各論(下) ○正價金一圓八十錢
○郵稅金十二錢

(全三冊完成)

日本赤十字社發行

看護人教科書

實價 六十五錢 郵稅 八錢 全一冊

看護學教程

實價 壹圓 郵稅 十錢 全一冊

篤志看護婦人會教程

●增訂改版●實價六十錢●郵稅八錢 全一冊

育兒談

實價 二十五錢 郵稅 四錢 全一冊

通俗救急處置

實價 二十五錢 郵稅 四錢 全一冊

通俗育兒新話

足立寬先生述 全一冊
定價 金八十五錢
郵稅 金八錢

大方諸彦之御愛顧に依り弊店の業務日に
擴張之幸運に向ひ候に付聊か御禮之印迄
に此度諸大家の御執筆を煩し「醫家文集」
と題する小冊子を毎年二三回づつ、發兌致
し弊館出版山極先生著書購讀諸彦に限り
無代價にて進呈仕度今回は即ち其第一回
として

醫學博士山極勝三郎先生述 境遇の感化

菊判第一冊 正價十五錢 郵稅不要
を第一篇として出版致候

醫學博士 佐藤進先生纂著
醫學博士 田中苗太郎先生校補(第五版)

增外科各論

卷五印刷中 全七冊

○第一卷頭部及顔面ノ上 正價十錢 郵稅四錢
○第二卷頭面ノ下 正價拾圓 郵稅四錢
○第三卷頸部及胸部 正價拾圓 郵稅四錢
○第四卷腹部及直腸肛門 正價拾圓 郵稅四錢
○卷六 脊柱諸病上肢外科 正價一圓二十錢 郵稅十二錢
○卷七 骨盤ノ外科 正價一圓三十錢 郵稅十二錢

男爵 石黒忠憲先生題辭 金木三郎先生編纂
醫學士 鳥居春洋先生增補

簡食養論完 全一冊
紙質上等總クロース製木々綴香金文字入 實價金七拾五錢
郵稅金六錢

凡ソ人孰カ生涯無病ナカラズ不幸ニシテ一朝疾病ニ罹ルトキハ醫
藥ノ効ニ賴ルベキハ勿論ナリト雖也食餌其ノ當ヲ得サルニ於テハ
全愈索ヨリ期スベカラズ然ルニ本邦未ダ患者ノ食養及ヒ禁忌飲食
ヲ記述シタル著書其類ヲ見ズ著者茲ニ見アリ醫院勤務ノ餘暇ヲ以
テ各疾病ニ係ル食養品及ヒ禁忌飲食物ヲ本邦ノ狀態ニ適切シ懇篤
平易ニ記述シ附スルニ吾人ノ飲食物ナル動物性植物性狀飲食物ヨ
リ嗜好性飲食料等ニ至ル迄ヲ細大洩レシテ幾百餘種ノ分析表ヲ
以テス又實ニ本書ハ日常患者ニ接スル醫家看護婦ハ勿論患者ニア
リテハ坐右ノ寶函トモ云フベク本邦未ダ見ザル處ノ良書ナリ

醫學博士櫻井恒二郎先生著

組織學實習法 全一冊
密書入紙質菊判三百頁 正價金八十錢 郵稅八錢

醫學士川原汎先生著

內科彙講 全四冊
卷壹(神經系統病)完 密書八十三圖插
體裁菊判上欄附二段詰紙頁四百七十頁除正價金壹圓七拾錢
郵稅金拾錢 總紙頁二千頁以下三冊續出

醫學士竹中成憲先生新著

實地應用肺結核療法 全一冊

正價金貳圓參拾錢 小包郵送稅拾五錢 美裝金文字入本綴 總紙頁數約六百五十餘頁插圖寫真版其他四拾二表插入...

氣候療法、溫泉療法、空氣療法、光線療法、電氣療法、外科療法、吸入療法、皮下注射、肌肉注射、血液療法、結核療法、結核菌素療法、結核菌素療法、結核菌素療法...

醫學士竹中成憲先生新著

實地應用肺結核療法 全一冊

正價 金參拾五錢 郵稅 金六錢 醫學士竹中成憲先生新著 醫學士高井宮五郎先生新著...

新藥處方全集

美裝金文字入本綴總紙頁四百餘頁 正價四圓 郵稅八錢 世ニ新藥及ビ處方ニ關スル書籍少シトモ...

獨乙國ドクトル、ナットー氏原著

增補毒物檢索法 全一冊

美裝金文字入本綴 總紙頁約五百頁 增補第貳版 着色石版圖一表其他密書數拾圖挿入...

毒物檢索法(裁判化學)ノ獨乙書中順序善ク然モ簡明ニシテ初學者ハ勿論熟練家ノ好侶伴タルハ本書ヲ以テ唯一トス...

醫學士竹中成憲先生新著

實地應用肺結核療法 全一冊

正價 金參拾五錢 郵稅 金六錢 醫學士竹中成憲先生新著 醫學士高井宮五郎先生新著...

新藥處方全集

美裝金文字入本綴總紙頁四百餘頁 正價四圓 郵稅八錢 世ニ新藥及ビ處方ニ關スル書籍少シトモ...

業取締規則第五條第二號牛乳中ニ移行スベキ毒藥

劇藥處方ニ關スル件 ▲內務省令第五十號 明治三十三年七月二十三日 飲食物器具取締規則 ▲內務省令第三十號 明治三十三年十月...

醫學博士金杉英五郎先生著 增訂鼻科學 全一冊 密滿入本綴 正價一圓五十錢 郵稅八錢

▲新訂第三版發行▼

醫學博士佐藤勤也先生增訂

新訂簡易產婆學

全壹冊

本文四號總振り假名附●着色石版寫真版精巧畫五表其他着色
木版十圖緻密寫真拾圖精巧木版五拾圖挿入●美裝金文字入本
綴●正價一圓廿錢●五百部限り特價壹圓郵稅十二錢

竹中成憲氏著簡易產婆學ハ眞ニ簡ニシテ要ヲ得タリ
ト好評ヲ博セシガ世ノ必用ニ應ジ大ニ増補訂正ス
ルノ止ナキニ至リ今ヤ同博士ガ親シ
氏ト佐藤博士ト協議ノ上博士ガ親シ
ク増訂セララル 其拾五版ヲ重ネタル實
評ア 佐藤博士ノ増補訂正ナル有益
麗ノ着色石版ニ新撰ノ密畫
多敷ノ挿入ハ 面目ヲ改メタリ
大ニ本書ノ

陸軍二等軍醫正寺西幸作先生校訂
醫學博士佐藤勤也先生編纂

新訂眼科新書

全壹冊

本綴美裝 正價二圓八十錢 郵稅廿錢
精巧眼底着色石版廿三個 其他石版圖及凡三百
個挿入紙員凡九百頁 新案試視力表挿入
醫ヲ獨逸國ニ遊學シ眼科ノ泰斗「ヘルシユ」教授ニ從ヒ此科
ノ奧ヲ極メタル寺西幸作先生豐富ノ才、流麗ノ筆ヲ以テ本書ヲ
増補シ大ニ圖畫ノ數ヲ増シ着色眼底圖ヲ加ヘ第二版ヲ發行セリ
ニ已ニ無比ノ好評ヲ博シ今ヤ加フルニ先生ノ專門的校正ヲ以テテ
所謂錦上更ニ華ヲ添エタル者ト云フベシ

醫學博士菊池常三郎先生纂著(第八版)

增訂實用外科各論

全四冊

卷之壹 正價五圓 小包料 六百多迄
卷之貳 頭部 正價一圓拾錢 郵稅八錢
卷之三 頸部及脊柱部 正價一圓拾錢 郵稅八錢
卷之四 四肢及下部 正價一圓拾錢 郵稅八錢

改訂袖珍外科手術書

全一冊

正價一圓 郵稅四錢

東京眼科病院長トクトル井上豊太郎先生編纂

再試視力表

全一表

正價十三錢 郵稅二錢

吉松文治先生譯

萬國新治療年報

卷之壹 正價四十五錢 郵稅四錢
卷之貳 正價五十五錢 郵稅四錢

醫學士竹中成憲先生述

ペスト必携

全一冊

袖珍 ●總クロース綴正價金三十錢 ●郵稅不要
●並製正價 金廿五錢 ●郵稅不要
「ペスト」益々猛烈ナ極ム之ニ關スル書籍ナキニアラザルモ述者別
ニ觀ルアリ平易ト實用ヲ旨トシ特ニ「ペスト」各種診斷法ヲ明示セ
ン「チ務メタリ素人亦一讀セラレテ可ナリ

生理的尿沈渣圖譜 井解 全一冊

着色石版圖八十八圖挿入 正價金貳圓五拾錢 郵稅金十錢

本書ハ 埃國維也納大學 トクトル、カ、ベ、ホフマン氏 合纂
ツマン 及 ドクトル、ホフマン ノ二氏ノ多年
ニ基キ著ハセル處ノ生理的并ニ病體ニ於ケル尿沈渣ヲ顯微鏡的及
化學的ニ詳述セシモノニシテ就中診斷上須要ノ事項ニ至リテハ所
說明瞭正確、殊ニ沈渣圖ノ如キハ原著者ガ最モ意ヲ用ヒシ處、天
眞爛漫實ニ醫籍中ノ大觀ナリイマ之ヲ翻刻全譯セシモノニシテ其
結晶ノ形狀ニ組織上皮膚圖 着色石版八十八圖 精巧畫
等鮮明緻密ニ描寫セル 極メ之ヲ鏡下ニ實地目擊スルト寸毫モ異ナル「チ亦各圖解説ノ
如キハ譯者ガ多年ノ實驗ニ
徵シ最モ丁寧ニ解釋シ殊ニ 三浦博士ガ獨佛留學
中化學診斷特ニ尿ニ就キ研究シ
得タル深遠ノ學理ニ據リ頗ル綿密ニ校閲セラレタルヲ以テ其正確
ナル多言ヲ要セズ實ニ本邦未ダ曾テ見ザル處ノ最大良書也

埃國維也納大學 トクトル、カ、ベ、ホフマン氏 合纂

醫學士竹中成憲先生述

生理的尿沈渣圖譜 井解 全一冊

着色石版圖八十八圖挿入 正價金貳圓五拾錢 郵稅金十錢

本書ハ 埃國維也納大學 トクトル、カ、ベ、ホフマン氏 合纂
ツマン 及 ドクトル、ホフマン ノ二氏ノ多年
ニ基キ著ハセル處ノ生理的并ニ病體ニ於ケル尿沈渣ヲ顯微鏡的及
化學的ニ詳述セシモノニシテ就中診斷上須要ノ事項ニ至リテハ所
說明瞭正確、殊ニ沈渣圖ノ如キハ原著者ガ最モ意ヲ用ヒシ處、天
眞爛漫實ニ醫籍中ノ大觀ナリイマ之ヲ翻刻全譯セシモノニシテ其
結晶ノ形狀ニ組織上皮膚圖 着色石版八十八圖 精巧畫
等鮮明緻密ニ描寫セル 極メ之ヲ鏡下ニ實地目擊スルト寸毫モ異ナル「チ亦各圖解説ノ
如キハ譯者ガ多年ノ實驗ニ
徵シ最モ丁寧ニ解釋シ殊ニ 三浦博士ガ獨佛留學
中化學診斷特ニ尿ニ就キ研究シ
得タル深遠ノ學理ニ據リ頗ル綿密ニ校閲セラレタルヲ以テ其正確
ナル多言ヲ要セズ實ニ本邦未ダ曾テ見ザル處ノ最大良書也

獨國大學講師 ドクトル、グレンベル氏共著
獨國大學講師 ドクトル、レウホイ氏共著
醫學博士 樫田龜一郎先生譯補

臨床細菌學

全一冊

總紙頁四百五十餘頁 正價金壹圓卅錢 郵稅金拾錢
精巧着色圖解密器版其他密器拾壹圓五十三個挿入
本書ハ獨逸國ストラスブルヒ府大學講師ドクトル、フエリグス、グ
レンベル及ヒ同大學講師ドクトル、ヘルンスト、レウホイ兩氏ノ
共ニ著ハシタル者ニシテ原著ノ書名チ(GRUNDRISSE DER KLINISCHEN BACTERIOLOGIE)ト云フ則チ本書ハ、專ラ臨床
ニ應用センガ爲メニ著ハシタル細菌學ナリ而シテ本書ノ特色トス
ル所ハ專門學トシテ記載セラレタル細菌學ニ異リ日常臨床醫家ノ
目撃スル疾病ニシテ其內科病外科病婦人科病眼科病トチ間ハス
臨床ニ於ケル細菌學的診斷、原因論、發後、治療法等ヲ詳述シタ
ルモノナリ 樫田先生先ニ醫學大學衛生學教室ニ在リテ細菌學研究
ノ余暇本書ヲ翻譯セラレ且ツ自己ノ經驗ニ基キ譯補セラレタル所
鮮シトセス其概スル所ハ總論ニ於テ細菌ノ形態及ヒ生理傳染、人
工免疫法及ヒ治療法ノ原理ヲ論シ其他細菌培養法及ヒ検査法ヲ述
ベ炎症及ヒ化膿病中ニ於テハ丹毒、靜脈炎、淋巴炎、鼻腺炎、頭
部炎、扁桃腺炎其他中耳炎、腦膜炎、氣管枝炎、胸膜炎、肺炎、心
囊炎、腹膜炎症一般、婦人生殖器ニ於ケル炎症眼珠ニ於ケル炎症
等其各章ニ於テハ腸チフス、コレラ、ザフテリイ、破傷風、結
核、レプラ、インフルエンザ、淋疾、梅毒、再熱熱、アケチノミ
コトジス等其他多數傳染性疾患ニシテ載セラレザルモノナシ實ニ
本書ハ日常患者ニ接セラレ、治療家諸君及醫學學生諸君ヲ益スル
少カラザル可ク苟モ學術的基礎ヲ以テ診斷シ且治療セント欲スル
諸君ニ向テハ必讀ノ良書ナリ

ドクトル 南條哲次郎先生考案

袖珍醫師臨床手錄

全一冊

洋裝總クロース 縱四寸八分横二寸五分ポケット入 頗美
本紙數三百頁 體溫表附
▲正價 四十五錢 ▲郵稅 四錢
醫運ノ發展ニ伴ヒ醫生ノ後期講習ニ從フモノハ其
ノ「クリニク」ニ於テ必ス病狀ヲ摘録スベキ「ノ
ト」ヲ備ヒ遺漏ヲ萬一ニ防カサルベカラズ醫家ト
雖モ亦往診ノ際必ス其ノ症狀并處方ヲ簡記シ備忘
ノ資料ニ供スベキモノ 漸次多キヲ加フルニ至リシ
ヲ以テ其ノ用ニ充テンガ爲メ弊備特ニ南條先生ノ
考案ヲ乞ヒ歐米最新ノ回診錄ニ倣ヒ袖珍美麗ノ小
冊子トナシ診席ニ必要ナル記録ヲ寸時ニ作成シ得
ルノミナラス尙附錄數十頁ニハ ▲診察時ノ注意ス
ヘキ要件 ▲第三改正藥局方ニヨル藥品目用量主ナ
ル効用 ▲法定藥品名及慣用藥品名對照表 ▲和漢雅
俗病症異名一覽 ▲內臟諸器ノ醫學的診查法 ▲信賴
スベキ新處方例 ▲其他醫師法、醫師會規則 ▲醫師
誹毀罪ニ關スル日本及獨乙刑法 ▲新刑法ノ醫師ニ
關スル摘録 ▲醫師府縣別調並ニ在本邦外人醫師表
▲醫師出身種別一覽其他診療上ノ要件及醫事上緊

關藤治郎先生編纂 (增補五版發行)

產婆問題答案書

全一冊

●附產婆試驗規則 看護婦試驗規則
正價 金五十錢 郵稅 六錢
本書發行以來讀者諸氏ノ非常ナル歡迎ヲ蒙リ茲ニ第五版ノ增補
出版ヲ見ルニ至レリ之レ他ナシ本書ノ内容如何ニ受驗者ニ満足ヲ
與ヘ及第確得ノ補佐藥タルハ弊館ノ敢テ喋々ヲ要セザル處ナリ殊
ニ今回更ニ東京府ヲ始メ他府縣ノ最新問題數百問ヲ採録シ是レニ
適切簡明ナル答案ヲ附セリ乞フ受驗者諸君購讀一番以テ及第ノ大
成功ヲ期スル、他ノ開業實地家ハ宜シク机上ニ備ヘテ好師範タラ
シメヨ

關藤治郎先生編纂

看護婦問題答案全書

全一冊

●附錄 看護婦規則 ▲普通看護婦試驗規則 ▲赤十字社看護婦
看護婦規則 ▲傳染病研究所看護婦養成規則 ▲看護婦試
驗規則 ▲看護婦取締規則 ▲皇國看護婦醫院規則摘要
正價 金卅五錢 郵稅 四錢
本書ハ既往七年間東京府ヲ始メ他府縣ニ於テ舉行セシ看護婦試驗
問題ヲ悉ク蒐集シ之レニ簡明正確ナル實地試問ヲテモ載録ス仍
ナル解答ヲ下テシ尙ホ參考トシテテモ世ノ看護婦
姉此ノ答案ヲ携帶シテ試驗及第ノ榮譽ヲ占ムセラレンコトナ

要ノ雜項數十種ヲ載セ且ツ時々諧謔ノ筆ヲ以テ一
讀願ヲ解クノ斷片ヲ錄載スル等頗ル斬新ニシテ趣
味ニ富ム携帶至便ノ最良珍書ナリ
明治藥學校長 恩田重信先生編

增訂藥劑師問題答案全集

全一冊

●總紙頁約八百五十餘頁
●正價金壹圓二十錢 郵稅金拾二錢
●第五版
本書ハ明治廿三年ヨリ四十一年ニ至ル拾九年間東
京大阪ノ兩所ニ出デタル藥劑師試驗問題ヲ網羅採
集シ之ニ恩田先生獨得流暢ノ筆ニテ ●物理學 ●化
學 ●生藥學 ●植物學 ●製藥化學 ●分析術 ●藥品鑑
定 ●調劑術 ●藥物製煉 ●試驗規則等
ヲ詳細解説シタル者今般更ニ多大ノ 增補改
訂ヲ加ヘ第五版發行シ且ツ附錄トシテ ▲藥劑師
試驗規則 ▲改正藥品營業并藥品取扱規則 ▲指
定藥品名 ▲改正刑法ト衛生等ヲ添ヘ加フルニ最モ
便益ナル索引ヲ卷末ニ附シタルバ受驗者ハ勿論一
般藥業家モ亦必須ノ寶典ナリ

醫學士川原 汎先生閱
太田季次先生著

日本氣候療養地論

全壹冊

總紙員菊判四百頁 正價九拾錢 郵稅拾錢

本書其ノ總論ニ於テハ深奥ナル學理的基礎ノ上ニ療養地ノ効績ヲ論シ各論ニ於テハ吾邦各地ノ溫泉及海水浴場二百八拾餘箇處ノ狀景ヲ述ヘ之レカ應用ノ適否ヲ論スルゴト精細ナリ故ニ此書實地醫癘家ノ爲メニハ缺クヘカラサル參考書ナリ又世間痼疾者轉地療養ヲナサントスル者ノ爲メニハ有益ナル好伴侶ナリ

千葉醫學專門學校教授 平野 一貫先生校閱
同 助手藥學得業士 三本松清吉先生纂譯

美藥品試驗法

全壹冊

紙數菊判三百五十頁 正價 金壹圓十錢 郵稅金八錢

本書ハ醫師、藥劑師并ニ醫學藥學生徒諸君ノ參考ニ供スルヲ目的トシ主ニ獨乙國「ビーヘン」氏藥品試驗法ヲ增補纂譯シ傍ラ「トームス」、「ホーフエルト」兩氏藥品鑑定「ラリニユキ」氏生藥學「シユミット」氏製藥化學「フーゼマン」氏植物論及獨乙藥局方ヲ參酌シ且ツ日本藥局方規定ノ藥品試驗法及新藥類其他藥局方ニ揭ク

陸軍二等軍醫正松本繁正纂著

臨床的血液檢查法

全一冊

紙員約貳百五十頁 ● 美綴金文字入本綴 ● 精巧密書二拾餘圖 ● 着色石版二表挿入

方今高遠深遠ナル血液病理解説々トシテ進ミ臨床家ハ獨リ血液病ノミナラス諸般ノ疾病ニ對シ精密ナル検査法ニ依リ血液ニ現ハル變狀ヲ發キテ以テ診斷及豫後上ノ判定並治療上ノ羅織トシテ應用益擴張セントシツ「ア」リ然レニ我邦未ダ此學ニ關スル書籍極メテ寥寥タルハ常ニ遺憾トセン所ナリ幸ニ本書ノ刊行ヲ觀ルニ至ル實地家及學生諸士ノ便益益シ多ナルヘキナリ此書臨床血液検査ノ目的及範圍並一般病理學的關係ノ章ニ初マリ臨床血液検査液検査法即チ血液ノ採取法ヨリ組織學的検査法、細菌學的及理化學的検査法等ニ及ヒ諸検査方法ノ記述頗ル詳細ニ互レハ良書ナリ乞フ速ニ坐右ノ伴侶トセラレンヨトナ

醫學大學教授醫學博士 山極勝三郎先生序
大阪醫學學校教諭 田中 祐吉先生著

病理學的實驗論集

全一冊

正價金七拾五錢 ● 郵稅金六錢 ● 總紙員菊版二百卅余頁 ● 綴密亞鉛版及木版精圖挿入

夫ノ病理學研究ノ興味アルハ實地ニ就テ病變セル臟器ヲ驗シ以テ生前ノ症狀ト相對照スルニアリ、此ノ方法ニ依リ始テ詳カニ疾病ノ本體ヲ察知スルヲ得ベシ、若シ夫レ解剖記録ヲ輯メテ之ヲ各病歴ト照應セシメ以テ一部ノ書トナサバ彼ノ「デモンストラチオン、スケルツス」ニ於ケルガ如ク實物ニ就テ親シク目視スルヲ得

ザルモ目下尙ホ醫藥ニ供セラルルモノハ殆ンド網羅シ各藥品ノ所說ハ特ニ●處方●熔融點●沸騰點●比重●含量●溶解藥ニ對スル關係●試驗法●定量法●時法●等ノ各項ニ區分シ最モ了解シ易カラシムルヤカ詳述シタリ

止善堂病院院長醫學士山田謙次先生著

家庭衛生及看護法

全一冊

菊版假名附高尙優美大和綴紙員四百餘頁精巧密書八十八圖挿入 正價 九十錢 郵稅 十錢

本書ハ山田先生ガ多年ノ實驗ニ基キ衛生及看護ノ方法ヲ赤十字社篤志看護婦人會其他諸種ノ婦人團體ニ對シ講話セラレタル演習ノ良書ニシテ其概目ヲ舉グレバ▲解剖生理ノ大意▲住宅家屋衣服ノ攝生▲傳染病ニ對スル心得▲外傷出血ニ對スル救急處置▲家内患者ノ看護法▲妊娠分娩產時ノ心得▲小兒ノ養育法▲病家ト醫師トノ關係等▲其他通計五十回ノ講義ニシテ(ハ)スト及其豫防法ヲモ其内ニ詳載セリ就中細帶術及細菌學ノ如キ其他概要ノ條々ハ悉ク圖畫ヲ以テ詳述シ着色體溫表ヲ示シ通編文章頗ル流暢且多數ノ密書ヲ挿入シ彼ノ歐米新學ノ翻譯物トハ大ニ其内趣ヲ異ニシ吾人々類ノ形體ヲ基礎トシ専ラ本邦ノ程度ニ據リ平易懇篤ニ講述セラレタルモノ故ニ一般看護人ハ勿論家庭ノ參考書トシ又教科用及衛生の講話ノ資料トシテ善美ヲ盡セル本書ノ右ニ出ツルモノナシ

ズトモ讀者ヲシテ病變ノ狀況ヲ實際ニ見知セルガ如クニ得シメ臨床的處置ノ正當ヲ期スルノ點ニ於テ大ニ補益スル所ナクシテ非ズ本書ノ世ニ出ツル實ニ之ガ爲メナリ其掲載セル二十有餘ノ各篇ハ録々ノ名アル田中先生ガ多年ノ實驗ヲ記錄セラレタル論稿中ノ精華ニシテ病變、解剖、鏡檢記録ヲ明細ニ載セテ之レニ對スル斷案ヲ下シ加フニ精緻ナル圖畫ヲ挿入シテ其說明ヲ補ヒ又々歐洲諸學者ノ學說實驗ヲ博ク蒐集セルガ故ニ本書ヲ一讀スルニテ歐洲諸病者ノ生前死後ノ變化ヲ對照觀察シ研究上大ニ利スル所ナカレバシ今ヤ編者伊東氏本書ヲ江湖同學ノ士ニ頒タントス實地醫家タル者須ラク一讀スル所ナカルベカラズ請フ陸續購求ノ榮ヲ賜ヘ

獨逸斯篤拉斯堡大學助教授カールテン氏原著

日本醫學博士 佐藤 進先生原譯

日本醫學博士 北里 柴三郎先生序文

日本陸軍三等軍醫正下クトル 濱邊 鼎 兩先生纂譯

細菌學的檢究術式綱要

全一冊

紙員菊判三百七十頁 ● 正價壹圓廿錢郵稅八錢

驗乎タル長驅ノ醫學今ヤ已ニ症候の診斷ノ套ヲ脱シテ證示の病組織ノ論據ニ立タントス是ノ秋ニ際シ我國醫家ノ擔フ所ヲ察スルニ病的變化檢究ノ一項ニ到テハ全ク沈沈ノ學ヲ見ルガ如キ者酒々皆然リ斯レ果シテ日新醫學ノ爲ス所歟弊店ノ本書ヲ發行スルモノ豈卒爾ナランヤ本書ハ普國斯篤拉斯堡大學助教授カール、フオン、カール、テン「氏著最新第五版「Tahni der histologischen Untersuchungen Pat. Col-Anatom. Präparate」ヲ基礎トシ爾他諸書ヲ涉獵シテ纂譯セルノ行文簡明意義燎然モ而カ 最新術式 羅シテ悉ク網羅シテ所ナシ法醫學的檢査法ヲ記述セルハ從來未ダ此類ヲ殊ニ末章ノ法醫學的檢査法ヲ見ザル所學生ハ洗滌ノ書ノ煩ヲ省キ實地家ハ依テ以テ醫學ノ現態ニ伴フヲ得ヘシ請フ陸續購求ノ榮ヲ賜ハラントナシ

醫學士竹中成憲先生編

增補 簡易產婆學

全一冊

菊判大形總振り假名付着色密書及寫真版其他精圖五拾個挿入 正價 八十錢 郵税 八錢

本書ハ高等小學二年級位ノ學力ニ適シ 務省令示ス所ノ各項目ニ據リテ故ニ問題ニ接スルハ直チニ本書ノ第何章ヲ以テ之ニ答ヘムカハ瞬間ニ決シ得ルヤヲ編纂シ且產婆學全般ノ事項ヲ細論シ 密書ヲ挿入シ 實地ニ望ミテモ遺憾ニ餘ル精巧ナル 編纂ニ尙 附録 トシテ 受驗及産婆規則並ニ日

千種佐太郎先生編纂 (第二版)

記憶 筋學 便覽

全一冊

正價 金貳拾錢 郵税 金貳錢

本書ハ心理學上ノ連合作用及ヒ類似作用等ノ記憶法ヲ考ヘ系統ヲ立テタル表トシ且歌六十首中筋名稱起始停止作用等ヲ悉ク網羅シタルモノナレバ誦記應用ニハ一讀ノ價値アリ

醫學博士 佐藤 進先生題辭

醫學博士 後藤新平先生序文

醫學博士 吳 秀三先生序文

醫學博士 佐藤勤也先生編纂

新訂 毒學

全一冊

總紙頁五百五十餘頁鮮明美麗精彩石版圖二表其他密書着色圖共八拾二個挿入 正價 壹圓七拾錢 郵税 拾四錢

本書第四版現ハル著者先生ノ綿密ナル增補校訂ト本店出版書籍ノ特點タル緻密精巧ナル圖畫ノ增補トハ本書ニ於テ殊ニ光彩ヲ添ヘタリ今ヤ皮膚病毒科ノ勃興セル機運ニ際シ斯科ヲ研究セントスル實地家及學生諸君ノ好個ノ參考書トナルモノ恐クハ本書ノ右ニ出ツルモノナカラン本特ガ他ニ先ヅテ第四版ヲ重メルモノ豈ニ其表證ニアラズトセンヤ諸君希クハ續々愛讀ノ榮ヲ賜ヘ

末永豊三郎編纂

醫學生 內臟學 記憶表

全壹表

正價 金十七錢 郵税 金貳錢

方今醫學受驗者ノ爲メ必要ナル記憶表ノ如キ汗牛充棟モ成ズ

陸軍醫學學校附醫學士佐藤恒九先生校閱
陸軍三等軍醫正醫學士藤隆作先生纂著
東京慈惠醫院
醫學專門學校講師

打診及聽診

全壹冊

附檢脈法

美裝本綴密書挿入 正價 七十錢 郵税 六錢

臨床實地ニ際シテ知ラザルベカラザルモノニニシテ足ラズト雖モ其應用最モ廣ク其 理學的診法殊ニ打診及聽診ニ若クハナシ 荷クモ人身ノ秘密ヲ機キ明確ナル判斷ヲ下サン トスル者ハ胸中常ニ豐富ナル 蘊蓄ヲ要ス 診斷學ノ書其數ニ乏シカラズト雖モ或ハ繁ニ失シ或ハ簡ニ流レ眞ニ坐右ノ指針トナスニ足ラズ本著ノ茲ニ生レントスル蓋シ偶然ニアラザルナリ坦々トシテ一ノ診論奇説ナキモ條理整然記憶ニ便ナルハ他ニ其比ヲ見ザルノ最良書ナリ

今田 東著

動脈一覽圖壹幅

正價貳圓二十錢 小包稅二百目迄

神經一覽圖壹幅

正價貳圓二十錢 小包稅二百目迄

內臟一覽圖壹幅

正價一圓九拾錢 小包稅二百目迄

雖形獨リ系統解剖學タル內臟篇ニ至リテハ未ダ曾テ之アルヲ見ズ 余茲ニ感アル久シ頃日暇日ヲ得編シ以テ受驗者諸士ニ紹介セル所 以ナリ蓋シ本表ハ粹チ拔キ要ヲ摘ミ以テ一表ヲ成スガ故ニ一目瞭 然了解スルヲ得テ記憶暗誦ニ至便ナル實ニ本書ノ名目ニ反セズ一 度之ヲ通讀セバ忘レント欲スルモ忘ルル能ハザル妙味アリ諸フ受 驗者及初學者諸士速ニ一本ヲ購フテ其眞價ヲ知り賜ハランコトヲ

醫術開業受驗者登第之葉

陸軍一等軍醫倉本忠純校閱 高砂義尚編纂

血液及同循環器生理記憶表 全壹表

正價 金十八錢 郵税 金貳錢

呼吸生理記憶表

全壹表

正價 金十四錢 郵税 金貳錢

消化生理記憶表

全壹表

正價 金十四錢 郵税 金貳錢

解剖アリテ生理ナキ首アリテ尾ナキガ如シトハ諸君ノ常ニ遺憾トセラルル所ナリシモ今ヤ出版シ首尾完全ス其體裁ノ如キハ解剖學即體表ニ等シク極メテ單簡明瞭且シハ記憶的ニ摘録シタレバ醫術開業前期受驗諸君ハ勿論初學者及病理學ヲ學ブノ基礎トシテ或ハ實地家ノ一助タルニ足ランカ

石澤男爵題字 醫學士竹中成憲先生著

增補 日本小內科學 全三冊

正價 四圓參拾錢 小包稅 貳拾錢

菊列總紙頁二千三百頁着色石版圖數表密書數百個挿入

●卷壹 (血行器、呼吸器病編) 紙頁三百六十餘挿圖百三十五個 正價 壹圓貳拾錢 郵稅 拾錢

●卷貳 (消化器、泌尿生殖、傳染病編) 紙頁凡五百頁着色石版其他密書九十餘個 正價 壹圓五拾錢 郵稅 拾貳錢

●卷參 (全身、神經、中毒、脚氣、皮膚病編) 紙頁五百餘頁其他密書八十餘個 正價 壹圓六拾錢 郵稅 拾貳錢

醫學博士島田耕一先生編著
最新 醫學辭典 美裝 正價一圓拾錢 郵稅八錢
同濟號編輯所纂著 方便覽 美裝 正價一圓廿五錢 郵稅八錢
平野一貫先生編著 藥用植物圖譜 美裝 近刊

醫學士竹中成憲先生著

臨診斷學實習 全一冊

正價 壹圓 郵稅 六錢

總紙頁三百餘頁插圖珍美裝本裝者色密書其他七十個挿入
本書ハ先生力積年ノ實驗運轉活用ニ適スルヲ目的トシ新案ニ微シ日常病ニ臨ミテ後編ニ於テ諸種ノ検査鮮明斬リ其ノ前編ニ於テ一般診法ヲ細論ス殊ニ鮮明斬新ナル細菌他密書頗ル多數ヲ挿入シ内外ノ新説ヲ網羅ス尤モ有益ナル餘白閑話ヲ併載シタル近來卓絶ノ好著ナリ

製藥化學大講本 豪卷一冊

總裁陸軍藥劑正恩田重信先生
監修陸軍藥劑正波多野常三郎先生
編輯長陸軍藥劑正喜多野金助先生
明治藥學校編纂
本書ハ日進月歩ノ藥學界ニ卓立シテ現ニ有爲ノ藥劑師數百名ヲ養成シツ、アル明治藥學校ノ校長恩田重信先生ガ總裁ノ下ニ同校ノ諸講師ガ學理ト實驗トヲ參照シテ編纂セラレタル者ナレバ、其ノニ適切ナルコト固ヨリ論ヲ待タズ無機編ハ言フニ及ハズ從來他書ニ缺漏多カリシ有機編ハ特ニ精華ヲ選メタル價値已ニ顯ルベカラザルモ、アリ有博士ガ本書ヲ評シテ「價値已ニ顯ルベシモ亦宜ナラズヤ」ト云フ等、全部完成ノ期ニ迫リ、發行ノ命ヲ蒙ルヲ得タリ即チ豫約出版ノ法ニヨリ最低廉ニ最便利ニ大方ニ頒カントス一言茲ニ之ヲ豫告候也

第壹卷第五册新刊 全一卷ハテ以テ完成

東京帝國大學 醫學博士山極勝三郎先生述 實習材料八百四十八例

病的材料觀察法實習 Demonstrations Cursus

- ▲第一册實習材料百八十六例 ▲紙頁五百四頁 ▲正價金 貳圓 挿圖九拾個 ▲郵稅 十二錢
- ▲第二册實習材料百七十例 ▲紙頁三百八十六頁 ▲正價 一圓六十錢 挿圖七十七個 ▲郵稅 十錢
- ▲第三册實習材料百七十例 ▲紙頁三百九十六頁 ▲正價 一圓六十錢 挿圖三十個 ▲郵稅 十錢
- ▲第四册實習材料百五十例 ▲紙頁四百數十頁 ▲正價 一圓六十錢 挿圖數十個 ▲郵稅 十二錢
- ▲第五册實習材料百七十二例 ▲紙頁四百八十五頁 ▲正價 貳圓 挿圖約壹百個 ▲郵稅 十二錢

五册 總紙二千二百數十頁
挿圖三百數十個
正價 八圓八拾錢
郵稅 三拾錢

患者治療之第一義は言ふまでも無く疾病を正確に診断するに在り。而して常に複雑なる病状をも診して誤なからんと欲せば。人須らく臨床醫學の素養以外に。病理解剖學の理論に通じ、又實地多數病體解剖例の經驗を有せざる可からず。蓋し各疾病に於ける本態的變化知悉せらるれば、之れに

由來する症候は自から理解せらるべければなり、加ふるに醫家には療病の外、時に死體檢按を爲すの要あり。實地醫家が病體解剖學の實際に通曉せざるべからざるや、夫れ斯くの如し。然り而して諸氏が學窓に在りし日。殊に當該醫學校の施設未だ備らずして、修學期間に於て十分に病體解剖例を陪觀する事を得ざる場合多きときは勿論。成業後、都市町村に司命の職に當るや。醫科大學、醫學專門學校、或は施療病院所在地に於ては、病體解剖に陪席し得ざるに非ざるも、業務繁劇なる爲め等にて。多くは其の機會を逸し、又は傍觀し得ると。多くして一年數回に過ぎず。況んや病體解剖の行はれざる地方の諸氏に到りては。成書若くは醫學雜誌所載の記事によりて幾分か其渴を醫するに満足せざるを得ず。尤も一方に於ては、朝夕多數の患者を診療すとは雖も。學生時代に修得せる病理解剖學の記憶は次第に腦裡を辭し去り。實地病體解剖を見たる眼底の印象も漸く其影の薄きを致すべきに於ては。或は不知不識治療の大精神に脊反するの行爲を敢てするに至るや知るべからず。是れ自から免がれざるの數にして。又實地醫家諸氏の深く遺憾とせらるゝ所なるべし。茲に於て乎必らずや此の缺陷を補ふの方法無かるべからず。我山極博士茲に觀る所あり。先生が東京帝國醫科大學病理解剖學教室に於て、豊富なる病體解剖材料に就きて、各臟器組織に於ける状態、病變の宿所、性状を示説し、是等所見を綜合概括し。又之を臨床上症候に對照して、當該例の死因、疾病の本體、結果現象、病の發生原因に迄説き及ぼされ。學生をして病體解剖の實地研究觀察法を實習せしめらるゝなる、夫の「デモンストラチオン・システム」講演の記録に多少の訂正を加へ。多數の模型圖をも添へて、以て實地醫家及學生諸氏病體解剖學研究の參考に供せられんことを。弊店に命じて、之を公にせしめられたる者即ち病的材料觀察法實習なり。無味乾燥なる病理解剖學書とは自から其撰を異にし。今回の發刊を以て既に其第五冊に達す、毎冊載する所の材料は、年度に隨ひ自から多少の異同あり。毎年九月より翌年三月の二學期に亘れる講演の明治三十四年九月より三十九年十二月の

六〇年間（明治卅八年九月より十二月—卅九年九月より十二月）の分を第五冊とす。卅九年一月乃至三月、四十年一月乃至三月の期間は先生缺席せられたる場合多かりし故篇入せられず。の示説材料總計八百四十八例。今合せて之れを第一卷に收め、先生に請ひ。解剖學的系統乃至疾病の種類に由り索引を作りて卷末に附し。愛顧諸彦の一覽に便せん事を期せり。願くは依例陸續御注文あらん事を。左に試に所收材料が示す所の病變及疾病に關する先生が調製せられたる略表を掲ぐ

(第一) 諸臟器が病變を呈したる頻度數(全材料八百四十八例中)

(イ)	消化器系統(舌、口蓋、咽頭、食道、胃、肝、大小腸、腹膜)	四百廿二例
(ロ)	呼吸器系統(喉頭、氣管、氣管支、肺、胸膜)	三百四十五例
(ハ)	泌尿器系統(尿道、膀胱、輸尿管、腎臟)	百八十一例
(ニ)	循環器系統(心臓、動脈脈管)	百七十七例
(ホ)	神経系統(腦、脊髄、硬、軟腦脊髄膜、眼底等)	百十七例
(ヘ)	生殖器系統(陰莖、睪丸、副睪丸、精囊、攝護腺、陰、子宮、卵巢等)——此の少數なるは外科婦人科的局所的治療に了る者多き故なり	百〇五例
(ト)	淋巴腺	六十九例
(チ)	骨組織	四十九例
(リ)	皮膚	二十九例
(ヌ)	筋組織	四十九例
(ル)	甲狀腺	二例

(第二) 數臟器組織に亘りて病變を示し若しくは同一或は類似の状態を呈する疾病或は材料の頻度數(全材料八百四十八例中)

(イ)	脚氣	三十七例	(ロ)	粟粒結核	二十六例
(ハ)	黃疸	九例	(ニ)	全身水腫	九例
(ホ)	全身高度の萎縮	八例	(ヘ)	膿毒症	六例
(ト)	紫斑病、多發出血症	五例	(チ)	癩病	五例
(リ)	老死	四例	(ヌ)	全身貧血	四例

- 第廿五 化膿性腦膜炎、僧帽瓣內膜炎等各.....十四例
- 第廿六 腹水、腎膿瘍、腎囊胞等各.....十三例
- 第廿七 沈墜性肺炎、鏡形肝蛭症等各.....十一例
- 第廿八 「クルップ」、癒着性胸膜炎、心脂肪變性、大腸濾胞炎(含潰瘍)、諸淋巴腺結核、腎脂肪變性、腎癆、腎結核、結核性脊髓膜炎等各.....十例
- 第廿九 氣管支擴張、化膿性腹膜炎、脾腫等各.....九例
- 第三十 喉頭斜位、結核以外の肺硬變、肺壞疽、化膿性胸膜炎、咽頭「ディフテリア」、食道癌、肝脂肪變性、肝轉移癌、肝東洋流絞榨溝、心壁內膜炎、梅毒性大動脈炎、乾酪性子宮內膜炎、諸種關節炎、十二脂腸蟲症、代償性腎肥大、脊髓後索灰白色變性腎生形異常等各八例
- 第卅一 脊髓炎、腎梗塞、傳染脾(著明なる者)、肝高度の萎縮、纖維素性胸膜炎、肺梗塞、肺水腫等各.....七例
- 第卅二 肺原發癌、喉頭結核、脂肪肝、心外膜炎(結核性以外)、子宮癌、子宮「ホリープ」、脊髓「カリニス」、脊椎彎曲、腺原發癌、十二脂腸潰瘍、脾梗塞、慢性軟腦膜炎、化膿性脊髓膜炎等各.....六例
- 第卅三 副睪丸結核、睪丸「ヒドロローネ」、產褥子宮、乾酪性喇叭管炎、水腎、諸骨肉腫、頭蓋骨梅毒、動脈血栓、鬱血性肝硬變、肺生形異常等各.....五例
- 第卅四 脊髓側索硬變、腦ゴム腫、子宮生形異常、膀胱結核、雙腎高度の萎縮脾結核、盲腸周圍炎、大腸癌、癌腹膜散種、子宮出血性內膜炎、靜脈炎、心高度の萎縮、心筋間質炎、肝日本住血吸蟲々卵栓塞性間質炎、實質性肝癌、胃「ポリープ」、胃慢性加答兒、水瘤、肺梅毒、膿胸等各.....四例

- 第卅五 嚔下肺炎、肺炭末沈着症、肺轉移癌、舌潰瘍、胃筋纖維腫、肝靜脈閉塞性內膜炎、肝血管腫、心梅毒、兩上房間卵圓孔存在、肺動脈擴張、小腸濾胞炎、腸管重積、大腸「チフス」、直腸周圍炎、腎ゴム腫、腎石、輸尿管狹窄、副腎結核、子宮頸破裂、睪丸周圍炎、腦炎等各.....三例
 - 第卅六 肺肉變、胃結核性潰瘍、總輸膽管擴張穿孔、膽管上皮癌、肝膿瘍、肝チステ、結核性心外膜炎、脂肪心(著き者)、ポタリ氏管存在、兩心室境壁穿孔、筋アブセス、膀胱萎縮、小腸「ディフテリア」性炎、十二指腸狹窄、小腸脂肪腫、大腸ポリープ、大腸濾胞性アブセス、大腸擴張、腹膜異物結核、大腸結核(のみ著き者)、大腸腺腫、脾ゴム腫、輸尿管內尿石、副腎ストルマ、卵巢囊腫、卵巢「デルモイード」、腦「グリオーム」、腦水、腦軟膜出血、脊髓多發硬變、脊髓梅毒等各.....二例
- 其他各一例の稀有なるは之を畧す
- 又○以○て○日○常○醫○家○が○本○邦○に○於○て○遭○遇○す○る○疾○患○に○對○す○る○實○地○的○病○體○解○剖○の○知○見○は○殆○ん○ど○凡○て○網○羅○せ○ら○れ○
 ○わ○る○を○見○る○べ○し○。○若○し○夫○れ○同○種○疾○病○も○亦○各○例○に○隨○つ○て○趣○を○異○に○す○る○事○千○態○萬○狀○な○る○も○の○あ○り○。○將○た○
 ○是○等○諸○病○變○が○各○例○に○於○て○互○に○如○何○なる○關○係○を○有○し○。○如○何○なる○影○響○を○全○身○に○及○ぼ○せ○る○や○等○の○觀○察○法○に○
 ○到○り○て○は○。○實○に○山○極○先○生○が○最○も○意○を○致○さ○れ○た○る○所○な○り○。○即○ち○今○回○の○實○習○第○五○冊○ 乃○至○第○一○—○第○五○冊○
 ○合○本○の○第○一○卷○と○が○諸○彦○座○右○の○好○侶○伴○た○る○を○得○ば○。○弊○舗○の○幸○榮○之○れ○に○過○ぎ○す

發行所

半田屋醫籍商店

東京市本郷區春木町二丁目

(振替貯金口座東京三四六四番)
(電話) 下谷 二千八百番

▲第貳年第三册發行▼

醫學博士 山極勝三郎先生主筆

癌
本邦癌腫研究之機關
第貳年第三册發行

五册出版
紙頁約二千餘頁
插圖數百個
正價金拾圓
小包稅三十錢

第二年第三册目次ハ左ノ如シ

(正價貳圓郵稅十二錢)

○原著

- 卵巢惡性混合腫瘍ノ一例(第一圖板第一—第二) 東京醫科大學病理學教室助手 醫學士 中村 舒
- 毛囊上皮腫ノ一例ニ就テ(第二—第三圖板) 東京醫科大學病理學教室助手 今村 隼 稻
- 擴張食道壁ニ發生セル癌腫ノ一例ニ就テ(第四—第五圖板) 日本赤十字社病院長宮中顧問官 醫學博士 子爵 橋本 綱 常
- 雌犬乳癌ノ一例 東京醫科大學病理學教室志願助手 今村 隼 稻

○食道癌ノ病理解剖學及ヒ組織學并ニ臨床上ノ統計的研究(插圖十二個)

京都醫科大學病理學研究室 醫學士 渡邊 喜三

○陰莖癌ニ就テ 東京醫科大學病理學教室ニ於テ志願助手 須藤 義一

○原發性肝癌ニ就テ 東京醫科大學病理學教室ニ於テ助手 醫學士 貴家 學 而

○癌研究会々報 ○理事會記事○會員異動○會員名簿○國際癌研究会創立會議記事

○抄録 ○ツハルヘルム、シュメール、肉眼的ニ鬼胎ノ狀アル血管内轉移ヲ有セル一羣丸畸形腫ニ

就テ○クニールム胃癌ニ繼發シ黒内障及耳聾ヲ隨伴セル廣汎性腦膜癌腫症ニ就テ○ザルチコウ炎症ニ因スル輸尿道上皮ノ變化○ドナー、クルト食道肉腫性腫瘍知見増補○ロニング氏腎臟ニ於ケル腎臟ニ於ケル副腎性腫瘍ノ肉腫樣變形ノ一例ニ就テ○フアン、チーゼンハウゼン胎生組織ノ移植ニ關スル問題○シヨエネ犬ノ甲狀腺ニ肉腫癌腫ノ併發セル一例○ウエー、ハーベルフルド胃癌胆管及ヒ氣管枝癌ノ統計ト原因○エル、ゴルドシュミット原發性表皮癌ノ皮膚ニ於ケル水泡形成連續性轉移ノ一例ニ就キテ○ヘルクスハイメル肉腫樣癌腫—食道ニ來リシ腫瘍ノ一例○クロムベッヘル皮膚唾腺及粘液腺混合腫瘍ノ發生及形態○クロムベッヘル皮膚及唾腺混合腫瘍ニ於ケル表皮ト結締織トノ關係并ニ肉腫樣癌腫ノ發生○ロンドン帝國癌研究基金ニヨル研究ノ第三回學術報告○マレー癌腫ノ動物學上ノ分布○ギアキー甘口鼠ノ出血性乳腺腫瘍及ヒ移植ニ對スル感受性并ニ抵抗性研究ノ結果○マレー移植シ得ベキ甘口鼠ノ表皮癌ノ一例○ハーランド試驗的狀態ノ下ニ肉腫發育ノ研究ヘノ貢獻

○歐文抄譯 ○原著獨逸文抄譯 醫學博士 山極勝三郎

第貳年第一册概目

總紙員三百數十頁
精巧寫真版數十表

正價 貳圓
郵稅 十二錢

○原著

- ▲第一、鶏ノ癌様新生物ニ就テ(挿圖數十個) 京都醫科大學教授 醫學博士 藤 浪 鑑(京都)
 - ▲第二、直腸癌ト日本住血吸蟲々卵トノ關係 海軍々醫少監 遠藤 德之助(東京)
 - ▲第三、遠藤氏論文ノ後ニ附記ス 東京醫科大學教授 醫學博士 山極 勝三郎(東京)
 - ▲第四、膀胱癌ニ就テ 陸軍一等軍醫 醫學士 室谷 脩太郎(京都)
 - ▲第五、同一乳腺内ニ二種ノ上皮細胞性腫瘍ヲ發生シタル一例 東京醫科大學病理學教室志願助手 今村 隼 稻(東京)
 - ▲第六、部分的自然治癒現象ヲ示セル扁平上表皮癌ノ一例 醫學士 木村 敬 義(東京)
 - ▲第七、悪性「ジンチ、オーム」非上皮細胞腫論(挿圖貳個) 永樂病院「プロゼクトール」 醫學士 貴 家 學 而(東京)
 - ▲第八、肺臓ニ於ケル悪性混合腫瘍ノ極メテ珍奇ナル一例(癌腫性肉腫)ニ就テ(挿圖貳個) 醫學士 貴 家 學 而(東京)
- 癌研究會々報○抄録數十件○原著歐文抄譯醫學博士 山極勝三郎(東京)

第二二年第一册概目

第一册 總紙員約四百五十五頁
精巧着色石版圖一葉
緻密寫真版二十七葉

正價金貳圓
郵稅拾貳錢

原著

- 卵巢癌腫發生ニ關スル知見増補(挿圖寫真版一個) 永樂病院「プロゼクトール」 大槻 滿次郎
- 腎ノ乳嚙性腺腫ノ一例 東京病理學教室ニ於テ 志願助手 須 藤 義 一
- 鼻腔及上顎竇原發癌腫ノ種類並ニ發生ニ就テ(挿圖寫真版三個) 名古屋醫學專門學校教授 中 村 豐
- 癌腫ノ組織發生ニ關スル知見増補第二(挿圖寫真版木版廿四個) 東京帝國醫科大學教授 醫學博士 山極 勝三郎
- 子宮腔部癌ノ種類及發生ニ就テ 東京病理學教室ニ於テ 醫學士 尾 畑 政 一
- 肺癌ノ種類、附其ノ發生上ノ二三ノ注意(挿圖寫真版及着色石版三個) 東京病理學教室ニ於テ 助手醫學士 川 村 麟 也
- 同一乳腺内ニ癌腫及ビ内被細胞腫ノ併發シタル一例ニ就テ(挿圖寫真版三個) 東京帝國醫科大學佐藤外科「クリニック」ニ於テ 陸軍一等軍醫醫學士 德 岡 熙 敬
- 一般記事 醫學士 緒 方 知 三 郎 記
- 發會式準備記事(速記)
- 癌研究會設立經過報告(速記) 海軍々醫總監海軍々醫學校長 醫學博士 本 多 忠 夫

癌著

報 々 會 究 研

- 癌研究會設立ノ要旨
 - 發起人氏名
 - 癌研究會規則
 - 同上役員氏名
 - 開會ノ辭(速記)
 - 會頭東京帝國醫科大學長 醫學博士 青山胤通
 - 文部大臣 男 原野伸
 - 內務大臣 男 濱尾新
 - 祝 詞(速記)
 - 東京帝國大學總長 男 齋藤榮一
 - 傳染病研究所長 醫學博士 北里柴三郎
 - 東京商業會議所長 男 澁澤榮一
 - 同 上(速記)
 - 同 上(速記)
 - 發會式迄ノ入會申込者氏名
 - 第一回學術集談會記事(速記)
 - 余ガ癌腫觀(筆記)
 - 癌ノ歴史(同上)
 - 癌免疫試驗ノ近況(同上)
 - 婦人科的癌腫ノ統計的報告(同上)
 - 上氣道癌ニ對スル外科ノ價值(同上)
 - 癌腫研究ト比較病理學(同上)
 - 癌ノ「スベート」レチナイフニ就テ(同上)
- 醫學博士 山極勝三郎
醫學博士 富士川三郎
醫學博士 佐多愛彦
醫學博士 木下正中
醫學博士 岡田和一郎
醫學博士 藤浪忠鑑
醫學博士 本多忠夫

○抄 錄 數十件

○ 原著及會報ノ歐文抄譯

醫學博士 山極勝三郎

第 一 年 第 一 冊 概 目

第一冊 紙頁判五百頁
着色石版表二葉
精巧寫真版拾五表

正價金貳圓
郵稅拾貳錢

原

著

錄抄

- 發刊ノ辭
 - 癌發生部位ニ關スル統計的調査
 - 醫學博士 佐藤勤也
 - 惡性腫瘍ノ血管ニ就テ
 - 大阪高等醫學校教諭 田中祐吉
 - 癌腫發生上甚ダ示說的ナル膽管末梢ヨリ發生セル癌腫ノ一例
 - 醫學博士 茂木藏之介
 - 癌腫ノ組織發生ニ關スル知見増補
 - 東京醫科大學教授 醫學博士 山極勝三郎
 - 東京病理學教室志願助手 杉原格
 - 脾臟原發癌ノ一例ニ就テ
 - 東京病理學教室助手 醫學士 草間
 - 卵巢扁平表皮細胞癌ノ一例
 - 東京婦人科產科學教室助手 醫學士 佐久間兼信
 - 實質性肝原發癌ノ一例附其ノ肝臟內轉移ニ於ケル稀有ナル化生ニ就テ
 - 東京醫科大學講師 醫學士 長與又郎
 - 京都醫科大學教授 醫學博士 松岡道治
 - 胃癌ノ治療ニ對シ醫家ノ注意ヲ望ム
 - 數十件
 - 寫真版着色石版等合セテ廿有餘圖挿入
 - 獨文發刊ノ辭
 - 前記原著論文ノ獨文抄譯
- 醫學博士 山極勝三郎
醫學博士 山極勝三郎

耳鼻咽喉科器械

品名	目録	摘	要	個數	個數	個別單價
口保反射鏡	全	玉樟製生地箱入	一具二十九圓	一	一	二十九圓
喉頭鏡	全	玉樟製生地箱入	一具二十九圓	一	一	二十九圓
喉頭鏡用柄	全	玉樟製生地箱入	一具二十九圓	一	一	二十九圓
岡田氏耳用鑷子	全	玉樟製生地箱入	一具二十九圓	一	一	二十九圓
岡田氏カテーテル	全	玉樟製生地箱入	一具二十九圓	一	一	二十九圓
トネルチ氏耳漏斗	全	玉樟製生地箱入	一具二十九圓	一	一	二十九圓
ルーツエ氏耳漏斗	全	玉樟製生地箱入	一具二十九圓	一	一	二十九圓
音叉 F	全	玉樟製生地箱入	一具二十九圓	一	一	二十九圓
全 調整子附 C	全	玉樟製生地箱入	一具二十九圓	一	一	二十九圓
岡田氏耳用卷綿子	全	玉樟製生地箱入	一具二十九圓	一	一	二十九圓
全氏耳用全	全	玉樟製生地箱入	一具二十九圓	一	一	二十九圓
岡田氏耳用換綿子	全	玉樟製生地箱入	一具二十九圓	一	一	二十九圓
岡田氏粉未藥散布器	全	玉樟製生地箱入	一具二十九圓	一	一	二十九圓
ナトスコップ	全	玉樟製生地箱入	一具二十九圓	一	一	二十九圓
フレンケル氏有蓋鼻鏡	全	玉樟製生地箱入	一具二十九圓	一	一	二十九圓
ランゲル氏漏斗狀鼻鏡	全	玉樟製生地箱入	一具二十九圓	一	一	二十九圓
ミッヘル氏後鼻鏡	全	玉樟製生地箱入	一具二十九圓	一	一	二十九圓
岡田氏卷綿子	全	玉樟製生地箱入	一具二十九圓	一	一	二十九圓
全氏カテーテル用輪氣連球	全	玉樟製生地箱入	一具二十九圓	一	一	二十九圓
岡田氏有柄壓舌子	全	玉樟製生地箱入	一具二十九圓	一	一	二十九圓

耳鼻咽喉科器械

五十五

新訂第八版全部完成

東京帝國大學醫學博士山極勝三郎先生著

新訂 病理總論講義

全三冊

●總紙頁凡一千三百頁●
●着色石版木版五拾表其他
●寫真版及密書四百拾拾個
●插入●正價金六圓●小包
●稅廿四錢●清韓、臺灣小
●包稅四十錢

●上卷病變論 第一章 進行性病變 第二章 退行性病變 第三章 局處循環障礙 第四章 精巧木版圖百二十五個
●着色石版圖拾二表 總計百五拾個
●中卷病因論 第一章 內因 第二章 外因 第三章 炎症 第四章 腫瘍 第五章 畸形
●真版其他密書數百個
●正價一圓八十錢
●郵稅十錢
●下卷發病論 第一章 病變之原因 第二章 病變之經過 第三章 病變之結果
●正價一圓六十錢
●郵稅十錢
●數拾表 着色木版寫真版及密書數百個
●正價一圓六十錢
●郵稅十錢
●今同本 中下卷 茲刻成第八版之全部完成
●訂正各條之於此卷之追加特在下卷腫瘍
●には在り腫瘍發育の一新條を設けられ随つて新圖畫數を増加せられたり

發行所 東京市本郷區春木町二丁目廿二番地 醫學藥學書類及醫科藥學器械專賣店 半田屋醫籍商店
東京帝國大學醫學部御用 電話下谷二千八百振替口座東京三四六四

五十四

耳鼻咽喉科器械

七三	岡田氏改良無窓鼻鏡	一個	七	十	銀
七二	ハーフレンケル有窓鼻鏡	一個	六	拾五	銀
七一	全鼻鏡	一個	四	拾五	銀
七〇	クラシメル氏鼻鏡	一個	八	拾	銀
六九	マイエル氏鼻鏡	一個	九	拾	銀
六八	手術用鼻鏡(内側鼻)	一個	八	拾	銀
六七	ホルトニ一氏鼻鏡	一個	一	圓	銀
六六	ハツクマン氏全鼻鏡	一個	一	圓	銀
六五	ツアワフアール氏鼻鏡	一個	六	十五	銀
六四	金杉氏燒灼用鼻鏡	一個	七	十五	銀

七三	鼻科器械	一個	七	十	銀
七二	鼻科器械	一個	六	拾五	銀
七一	鼻科器械	一個	四	拾五	銀
七〇	鼻科器械	一個	八	拾	銀
六九	鼻科器械	一個	九	拾	銀
六八	鼻科器械	一個	八	拾	銀
六七	鼻科器械	一個	一	圓	銀
六六	鼻科器械	一個	一	圓	銀
六五	鼻科器械	一個	六	十五	銀
六四	鼻科器械	一個	七	十五	銀

七三	鼻科器械	一個	七	十	銀
七二	鼻科器械	一個	六	拾五	銀
七一	鼻科器械	一個	四	拾五	銀
七〇	鼻科器械	一個	八	拾	銀
六九	鼻科器械	一個	九	拾	銀
六八	鼻科器械	一個	八	拾	銀
六七	鼻科器械	一個	一	圓	銀
六六	鼻科器械	一個	一	圓	銀
六五	鼻科器械	一個	六	十五	銀
六四	鼻科器械	一個	七	十五	銀

鼻科器械

五十九

耳鼻咽喉科器械

七〇	岡田氏(全)U123	一個	二	十	圓
六九	歌氏管カテーテル管	一個	三	十	圓
六八	通利川連球	一個	一	圓	五十
六七	ホルツ大ゴム球	一個	九	十	圓
六六	全中	一個	一	圓	五十
六五	ナトスコープ	一個	四	十	圓
六四	歌氏管カテーテル用	一個	七	十	圓
六三	耳用探子	一個	二	十	圓
六二	ホルツエル氏耳用兩	一個	六	十	圓
六一	頭鏡	一個	五	十五	圓
六〇	ホルツマン氏耳用有	一個	一	圓	四十
五九	柄鏡	一個	一	圓	四十
五八	ランゲンベッキ氏耳	一個	一	圓	四十
五七	中異物除出器	一個	一	圓	四十
五六	トワットマン氏耳中	一個	二	圓	三十
五五	異物除出器	一個	一	圓	五十
五四	山上氏全	一個	一	圓	五十
五三	岡田氏耳用鑷子	一個	六	十	圓
五二	ルーケー氏全	一個	四	十	圓
五一	アルーベル氏全	一個	四	十	圓
五〇	ホルトマン氏耳中異	一個	八	十五	圓
四九	物鏡	一個	一	圓	五十
四八	ヤコブソン氏耳中	一個	一	圓	五十
四七	鋭鏡	一個	一	圓	五十
四六	トワットマン氏耳中	一個	一	圓	五十
四五	異物剪	一個	一	圓	五十
四四	鼓膜穿刺針	一個	七	十	圓
四三	外聽道截開刀	一個	七	十	圓
四二	耳用卷綿子	一個	十	十	圓
四一	全岡田氏形	一個	二	十五	圓
四〇	ルーツエ氏探子	一個	二	十五	圓

七三	乳嘴突起手術器械	一個	三	圓	二十
七二	乳嘴突起手術器械	一個	一	圓	二十
七一	乳嘴突起手術器械	一個	三	圓	五十
七〇	乳嘴突起手術器械	一個	一	圓	五十
六九	乳嘴突起手術器械	一個	一	圓	五十
六八	乳嘴突起手術器械	一個	一	圓	五十
六七	乳嘴突起手術器械	一個	一	圓	五十
六六	乳嘴突起手術器械	一個	一	圓	五十
六五	乳嘴突起手術器械	一個	一	圓	五十
六四	乳嘴突起手術器械	一個	一	圓	五十
六三	乳嘴突起手術器械	一個	一	圓	五十
六二	乳嘴突起手術器械	一個	一	圓	五十
六一	乳嘴突起手術器械	一個	一	圓	五十
六〇	乳嘴突起手術器械	一個	一	圓	五十
五九	乳嘴突起手術器械	一個	一	圓	五十
五八	乳嘴突起手術器械	一個	一	圓	五十
五七	乳嘴突起手術器械	一個	一	圓	五十
五六	乳嘴突起手術器械	一個	一	圓	五十
五五	乳嘴突起手術器械	一個	一	圓	五十
五四	乳嘴突起手術器械	一個	一	圓	五十
五三	乳嘴突起手術器械	一個	一	圓	五十
五二	乳嘴突起手術器械	一個	一	圓	五十
五一	乳嘴突起手術器械	一個	一	圓	五十
五〇	乳嘴突起手術器械	一個	一	圓	五十

耳科器械(乳嘴突起手術器械)

五十八

耳 鼻 咽 喉 科 器 械

八七〇	ハルトマン氏全	全	一個	七十五	八七〇	ハイスナル氏開口器	硬ゴム製	一個	四十五
八六九	クワラセ氏前頭鏡	全	一個	八十五	八六九	エスマルヒ氏全	金製	一個	五十五
八六八	シユミット氏探膿唧筒	金製	一個	五十	八六八	ホワイトヒド氏全	（水牛製）	一個	三十五
八六七	菊池氏改良前頭鏡	全	一個	四十	八六七	ホワイトヒド氏全	（水牛製）	一個	三十五
八六六	耳鼻兩用洗滌器	全	一個	三十	八六六	リユエル氏口角鉤	全	一個	十五
八六五	鼻洗器	全	一個	二十	八六五	指 甲	全	一個	十五
八六四	鼻用噴霧器	全	一個	十	八六四	エスマルヒ氏舌鉗子	全	一個	十五
八六三	ミツヘル氏後鼻鏡	全	一個	十	八六三	コルリン氏全	全	一個	十五
八六二	ヘーリング氏上顎鏡	全	一個	十	八六二	マツチウ氏全	全	一個	十五
八六一	検査用電燈	全	一個	十					
八六〇	岡田氏懸垂提舉器	全	一個	十					
八五九	ハルトマン氏全	全	一個	十					
八五八	モリスツ、シユミット氏全	全	一個	十					
八五七	シユメ、デン氏懸垂	全	一個	十					
八五六	垂直器	全	一個	十					
八五五	ハルトマン氏鼻用輪	全	一個	十					
八五四	狀刀	全	一個	十					
八五三	ゴットスタイン氏全	全	一個	十					
八五二	ベックマン氏全	全	一個	十					
八五一	ハルトマン氏全	全	一個	十					
八五〇	セヒ氏後鼻有及鉗子	全	一個	十					
八四九	整鼻術パラフィン注射器	全	一個	十					
八四八	全用抽出器	全	一個	十					

咽喉科器械 口蓋器械

六十一

耳 鼻 咽 喉 科 器 械

八七〇	ハルトマン氏全	全	一個	七十五	八七〇	ハイスナル氏開口器	硬ゴム製	一個	四十五
八六九	クワラセ氏前頭鏡	全	一個	八十五	八六九	エスマルヒ氏全	金製	一個	五十五
八六八	シユミット氏探膿唧筒	金製	一個	五十	八六八	ホワイトヒド氏全	（水牛製）	一個	三十五
八六七	菊池氏改良前頭鏡	全	一個	四十	八六七	ホワイトヒド氏全	（水牛製）	一個	三十五
八六六	耳鼻兩用洗滌器	全	一個	三十	八六六	リユエル氏口角鉤	全	一個	十五
八六五	鼻洗器	全	一個	二十	八六五	指 甲	全	一個	十五
八六四	鼻用噴霧器	全	一個	十	八六四	エスマルヒ氏舌鉗子	全	一個	十五
八六三	ミツヘル氏後鼻鏡	全	一個	十	八六三	コルリン氏全	全	一個	十五
八六二	ヘーリング氏上顎鏡	全	一個	十	八六二	マツチウ氏全	全	一個	十五
八六一	検査用電燈	全	一個	十					
八六〇	岡田氏懸垂提舉器	全	一個	十					
八五九	ハルトマン氏全	全	一個	十					
八五八	モリスツ、シユミット氏全	全	一個	十					
八五七	シユメ、デン氏懸垂	全	一個	十					
八五六	垂直器	全	一個	十					
八五五	ハルトマン氏鼻用輪	全	一個	十					
八五四	狀刀	全	一個	十					
八五三	ゴットスタイン氏全	全	一個	十					
八五二	ベックマン氏全	全	一個	十					
八五一	ハルトマン氏全	全	一個	十					
八五〇	セヒ氏後鼻有及鉗子	全	一個	十					
八四九	整鼻術パラフィン注射器	全	一個	十					
八四八	全用抽出器	全	一個	十					

鼻科器械 咽喉科器械

六十二

咽喉科器械

口蓋器械

八七〇	全	硬ゴム製	一個	四十五
八六九	全	金製	一個	五十五
八六八	全	（水牛製）	一個	三十五
八六七	全	（水牛製）	一個	三十五
八六六	全	全	一個	十五
八六五	全	全	一個	十五
八六四	全	全	一個	十五
八六三	全	全	一個	十五
八六二	全	全	一個	十五
八六一	全	全	一個	十五
八六〇	全	全	一個	十五
八五九	全	全	一個	十五
八五八	全	全	一個	十五
八五七	全	全	一個	十五
八五六	全	全	一個	十五
八五五	全	全	一個	十五
八五四	全	全	一個	十五
八五三	全	全	一個	十五
八五二	全	全	一個	十五
八五一	全	全	一個	十五
八五〇	全	全	一個	十五
八四九	全	全	一個	十五
八四八	全	全	一個	十五
八四七	全	全	一個	十五
八四六	全	全	一個	十五
八四五	全	全	一個	十五
八四四	全	全	一個	十五
八四三	全	全	一個	十五
八四二	全	全	一個	十五
八四一	全	全	一個	十五
八四〇	全	全	一個	十五

械器科喉咽鼻耳

六九	全氏扁桃腺切除鉗子	大、中、小、各	一個	四圓五十錢
八〇	岡田氏扁桃腺刀		一個	五圓五十錢
八一	バキンスキ氏全		一個	四圓
八二	有柄扁桃腺刀		一個	一圓十錢
八三	リコルト氏扁桃腺止		一個	二圓八十錢
八四	リゼル氏扁桃腺鉤		一個	八圓十五錢
八五	ロイヘルト氏全		一個	一圓
八六	フエルグリン氏魚骨		一個	三圓十五錢
八七	抽出器		一個	二圓十五錢
八八	鉤貨子		一個	十圓二十錢
八九	海綿球異物取出器	全部ニツケル製	一個	二圓八十錢
九〇	岡田氏耳鼻喉科器		一具	三圓五十錢
九一	械消毒器		一具	四圓五十錢
九二	價中用電燈		一具	三圓五十錢
九三	耳鼻喉科用燒灼電		一具	四圓五十錢
九四	氣頭模	紙製 大形	一具	三圓二十錢
九五	耳模	全部金屬 全	一具	三圓二十錢
九六	耳鼻喉科用	軟膏入瓶 九個	一具	五圓五十錢
九七	裝匣	軟膏入瓶 五個	一具	五圓五十錢
九八	全回轉裝置		一具	七圓
九九	器械入戸	木製四方硝子厚硝子三段 附幅三寸迷長四寸迷高一寸迷五寸迷	一個	四圓十五圓

店賣販造製

町木春區鄉本市京東

部械器療醫屋田半

番八〇〇二谷下話電

番四六四三京東座口替振

六十二

明治四十二年五月三日印刷
明治四十二年五月六日發行



編著者

發行者

印刷者

印刷所

正價壹圓九拾錢

細谷雄太
東京市下谷區池ノ端茅町二丁目四番地

山口徳次郎
東京市本郷區春木町二丁目廿二番地

矢部政吉
東京市本郷區湯島切通坂町五十一番地

正文舎
右同 所 電話下谷一三六〇番

發兌元

醫籍藥學書類及一般醫療器械專賣店
東京帝國大學醫科大學御用
農商務省認可各種度量衡販賣

東京市本郷區春木町二丁目角
半田屋醫籍商店

(電話)下谷二〇〇八番
(振替)貯金口座東京三四六四番

肆書捌賣

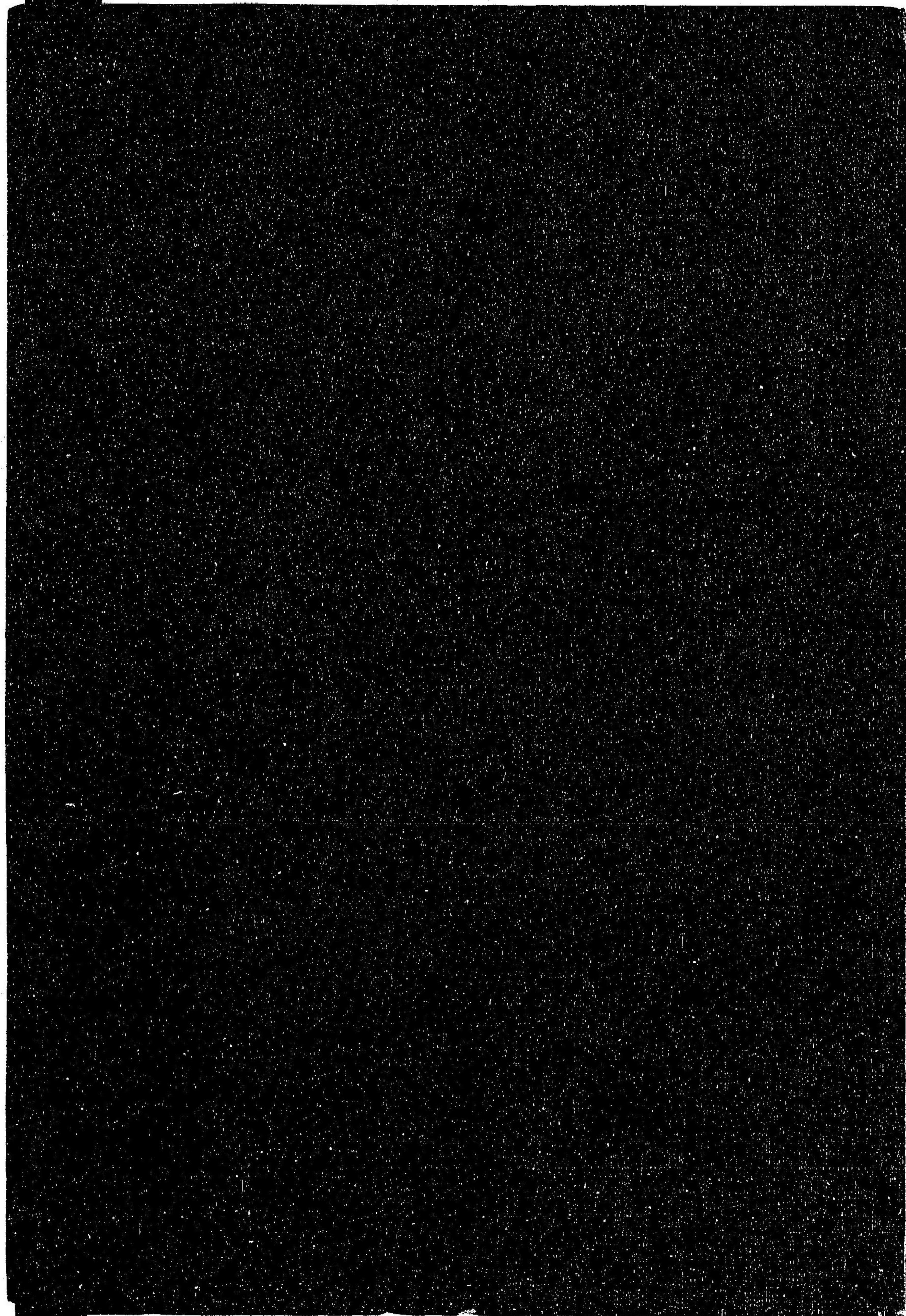
全	東京市日本橋區通三丁目	丸善株式會社書店	全	東京市京橋區南傳馬町	目黒書店
全	本郷區湯島切通坂町	南江堂書店	全	日本橋區大傳馬町	文林堂書店
全	神田區鍛冶町	朝香屋書店	全	日本橋區通三丁目	林平次郎
全	本郷區湯島切通坂町	金原書店	京都市河原町通	大黒屋書店	
全	本郷區春木町三丁目	南江堂支店	京都市寺町通二條	若林茂一郎	
全	本郷區龍岡町	吐鳳堂書店	京都市三條通鉄屋町	丸善支社	
全	本郷區水宮土町	文光堂書店	大坂市南區末吉橋通	同濟號書店	
全	本郷區本宮土町	明文館書店	大坂市中ノ島玉江町	角屋書店	
全	本郷區春木町三丁目	積運堂書店	長崎市引地町	安中集榮堂	
全	本郷區龍岡町	朝陽堂書店	熊本市新町二丁目	長崎次郎	
全	本郷區龍岡町	根津書店	金澤市片町	宇都宮書店	
全	本郷區龍岡町	南山堂書店	仙臺市新傳馬町	金英堂書店	
全	本郷區湯島切通坂町	文榮堂書店	岡山市上ノ町	渡邊宗次郎	
全	神田區表神保町	宮澤書店	千葉縣千葉町	明文館支店	
全		東京堂書店			

關西大賣捌

大坂市中心齋橋筋博勞町(電話東二百五十八番) 松村九兵衛
 大坂市中心齋橋筋一丁目(電話東八十四番) 丸善株式會社支店
 名古屋市本町三丁目(電話九百八十五番) 丸善書店

58

32



58

32

060152-000-0

58-32

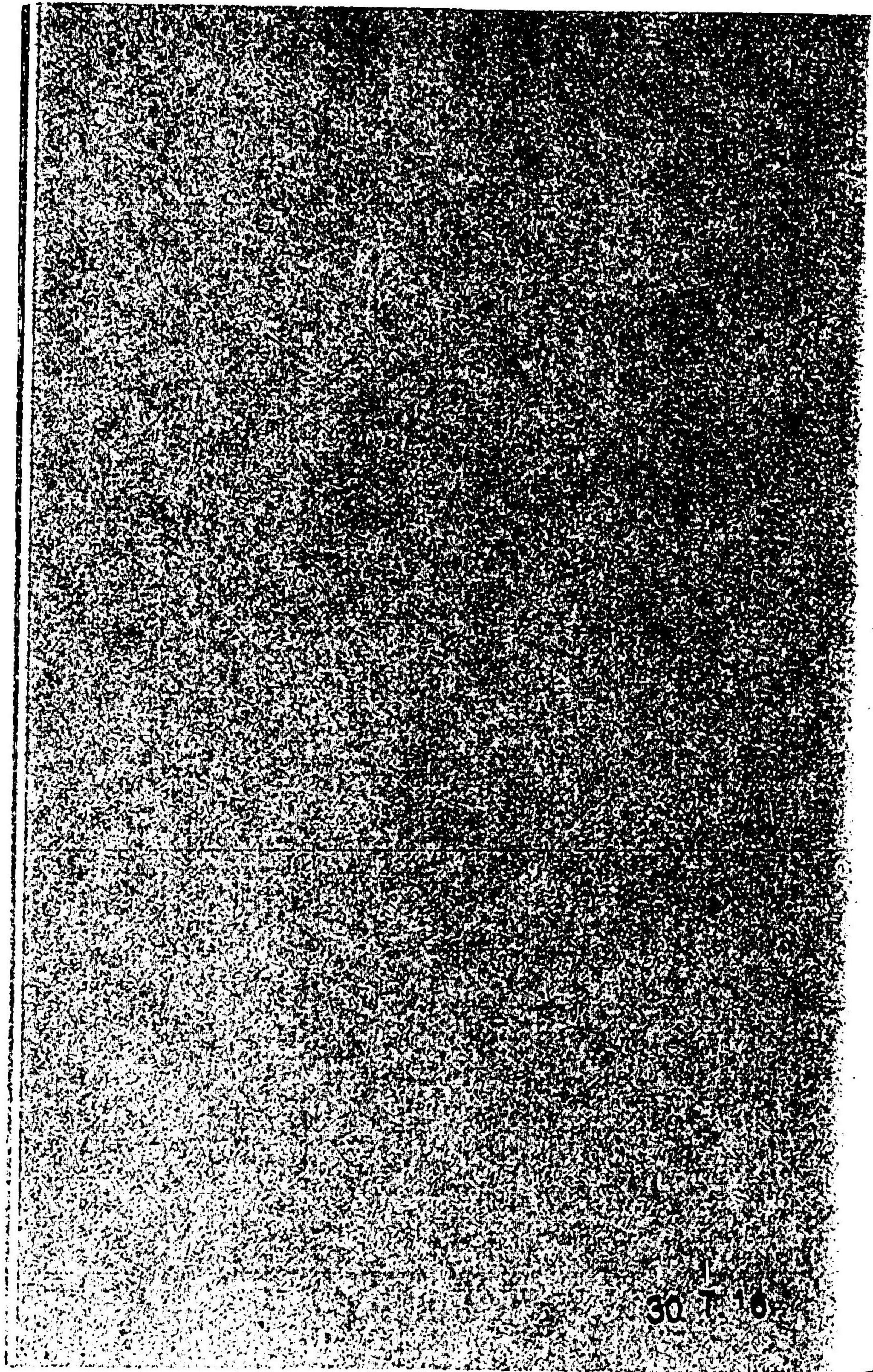
耳鼻咽喉科手術

細谷 雄太/編

M42

CBK-0031





30-7-10

